

あたたかく やさしく 人にも 地球にも

CSR 報告書 2017

社会医療法人 河北医療財団
Kawakita Medical Foundation

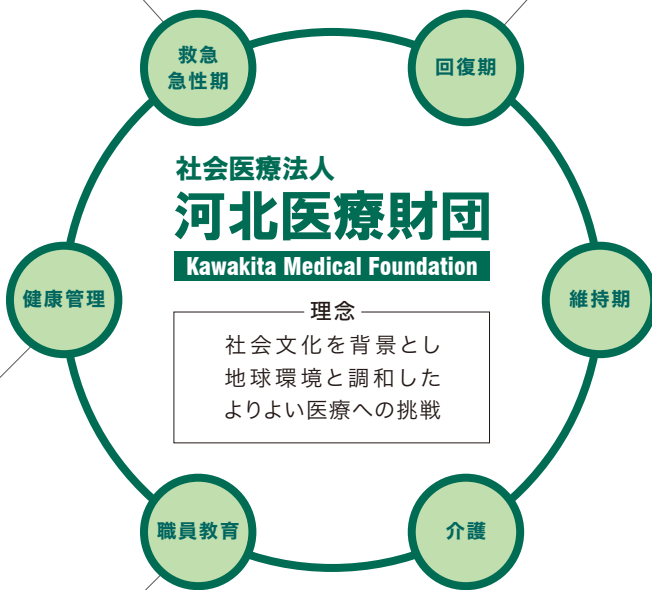


<https://kawakita.or.jp>

〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-7-3
TEL: 03-3339-2121 (代)

Kawakita Health Support Network

● 杉並エリア ■ 多摩・稲城エリア



● 河北総合病院



1928年病床数30床でスタートし、現在331床の総合病院として地域の診療所や介護施設等との連携を確立。救急拠点病院、地域医療支援病院として高度な急性期医療を提供。臨床研修病院として人材教育にも力を注ぐ。

● 河北総合病院 分院

内科・小児科・心療科の外来診療と呼吸器系・腎臓・膠原病系・血液内科の専門病棟を有する。



● 河北サテライトクリニック

リウマチ・関節・膠原病センターを開設し、家庭医療科・皮膚科・眼科・整形外科の外来診療や生活習慣病の予防等対応。



● 河北健診クリニック (河北総合病院健診センター)



健診・人間ドックの専門機関。コンセプトは「より質が高くより快適にそして女性に優しく」。

N.K.Farm[長野県] (Nature&Knowledge)



長野県茅野市(夢科)にある研修施設です。

● 事業所内保育事業

かわきたおひさま保育所
開所:2018年4月

● 介護老人保健施設 シーダ・ウォーク



個人の尊重と在宅生活復帰への支援を優先に考え、家庭的な雰囲気の中でケアを提供。

- あい介護老人保健施設
- あいグループホーム天の川
- あいグループホームどんぐり
- あい小規模多機能施設ほたる
- あい小規模多機能施設かりん
- あい小規模多機能施設おきな(サテライト)
- あいフィットネスサロンさくら(予防)
- 多摩市委託事業 桜ヶ丘いきいき元気センター(予防)

● 河北リハビリテーション病院

回復期リハビリテーションの専門病院として、地域の医療機関や医師会などと連携し、退院後も視野に入れた優しいサポートを提供。



■ 天本病院

1980年、多摩市貝取に設立。高齢者医療・ケアのパイオニアとして、地域の在宅療養を支援。



● 河北透析クリニック(透析センター)

透析専門施設「河北葦クリニック」から2018年3月、「河北透析クリニック」として新規開設。



● 河北家庭医療学センター 河北訪問看護・リハビリテーション阿佐谷

外来と在宅での医療サービスを通して地域の皆さんを支援し、「ともに創り上げる医療・ケア」を実現。



● 杉並区委託事業 地域包括支援センター(ケア24阿佐谷・ケア24松ノ木)

- 多摩市委託事業 多摩市中部地域包括支援センター 多摩市中部高齢者見守り相談窓口
- あいクリニック
- あいクリニック中沢
- あいクリニック平尾
- あい訪問看護ステーション
- あい訪問看護ステーション中沢(サテライト)
- あい訪問看護ステーションせいせき(サテライト)
- あい訪問看護ステーション平尾
- ケアプランセンターあいクリニック

● 提携施設 医療法人社団 三成会 河北前田病院



河北医療財団の「CSR」とは

CSR(Corporate Social Responsibility)とは、

倫理的観点から事業活動を通じて、

人権やコンプライアンスの遵守、環境問題への配慮、地域社会との共存・貢献といった

企業が果たすべき社会的責任を指します。

河北医療財団は、

財団理念である「社会文化を背景とし 地球環境と調和した よりよい医療への挑戦」に基づき、

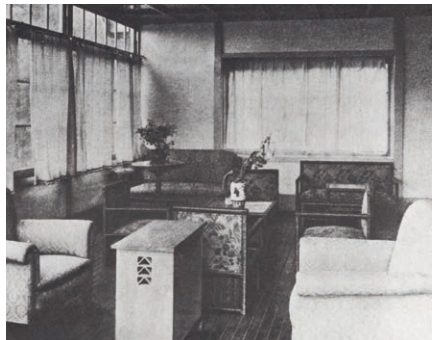
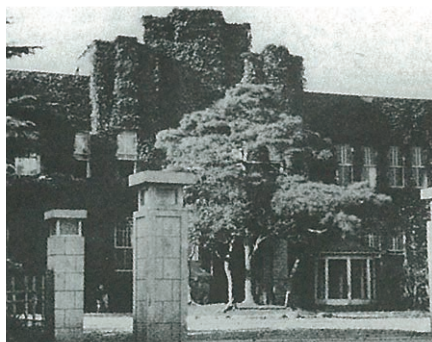
医療という本業により、地域社会の健康向上に貢献します。

理念と目的

理 念	社会文化を背景とし 地球環境と調和した よりよい医療への挑戦
目 的	質の高い怒(おもいやり)のある医療を行うとともに地域の健康向上に寄与する
標 語	安心と納得が創る信頼 あたたかく やさしく 人にも 地球にも 学び(心で感じ) 考え 行う 受容 傾聴 共感 確立された医療を確実にを行う 疾病 健康 生活 地域
方 針	1. ●‘地域の人の期待’に答える医療の確立 ●利用者主体の医療の確立(権利と責任) ●高齢化に対応する医療 ●病院医療を中心としながら地域機能を高める 2. 教育(医学水準の向上) 3. 職員の働き甲斐の向上をはかる(ライフサイエンス) 4. 健全経営 5. 地球環境保全



社会医療法人 河北医療財団は、創立90周年を迎え、100年にむかって新たな意思表示のマークを制定しました。



社会医療法人
河北医療財団

CSR REPORT 2017



河北医療財団は、2012年よりANNUAL REPORTを発行してまいりました。当財団の取り組みや姿勢をより詳細にお伝えすべく、2017年度よりCSR(Corporate Social Responsibility)報告書として、リニューアルいたします。河北医療財団が考えるCSRとは、医療という本業により、地域社会の健康向上に貢献していくことです。

医療・福祉・介護を担い、お一人おひとりの尊厳を大切に、生活に寄り添うことは当然の使命と考えております。100周年にむかって「恕(おもいやり)」の様々な活動や取り組みをご報告いたします。

■ 報告期間
2017年度(2017年4月～2018年3月)の活動や統計データを記載しております。

■ バックナンバー
「CSR報告書」ならびに「ANNUAL REPORT」は、当財団のWEBサイト上で公開しております。
▷「財団について」
<https://kawakita.or.jp>

■ 発行
社会医療法人 河北医療財団

■ 発行日 / 2018年5月31日

■ お問い合わせ
社会医療法人 河北医療財団 広報課

〒166-8588
東京都杉並区阿佐谷北1-7-3
☎03-3339-5724
e-mail: press@kawakita.or.jp

CONTENTS

◆信頼と安全をめざして	P05
◆沿革	P06
◆TOP MESSAGE	P07
100周年にむかって連想((報)・連・相)する「地域医療」 社会医療法人 河北医療財団 理事長 河北 博文	
◆Report 2017	P09
◆Topics	P10
地域の皆さまでともに	P12
地域医療連携	P14
職員の教育・研修	P15
◆環境へのおもいやり	P17
◆統計	
杉並事業部	P19
多摩事業部	P33
財務(収益)	P34
◆概要	P35
◆施設認定	P37
◆施設案内地図・連絡先一覧	P39
◆学会発表	P41
◆年間イベントスケジュール	P43

信頼と安全をめざして

沿革

患者さんの権利と責任 — 私たちの病院の姿勢 —

公正な医療をめざすための大切な行動指針とし、患者さんと医療従事者(医療者)がともに主体性に根ざした協働の関係がなければならないと考えております。患者さんは、医療に参加し、医療者と協力する責任があります。私たちの病院では、常設の倫理委員会において、引き続き、医療の基本姿勢に関して論議してまいります。患者さんの権利と責任は、よりよい医療をおこなう上で大変重要です。そのためにも、患者さんに、これらのことをご理解いただきますようお願い申し上げます。

私たち医療者は、以下のことを努力します

- ・医療者としての良心と使命に基づいて、患者さんと強い信頼関係を築くこと
- ・医師による説明と患者さんの納得に基づく医療を提供すること
- ・患者さんの人生が最期まで豊かであるように、その意思を尊重すること
- ・よりよい医療をおこなうように研鑽、研修に励むこと

個人情報保護方針

よりよい医療を提供するため、以下の取り扱い方針を宣言いたします。

- ・患者さん個人が自らの権利と責任において、最適な診療を得られるよう本人の意思を尊重する
- ・個人情報の「収集」「利用」「提供」において、公正な規定に従い適切な運用をおこなう
- ・財団の保有する個人情報への不正アクセスや、個人情報の紛失、破壊、改ざん、漏えいの予防措置を講じる
- ・個人情報に関する法令、内部規定の遵守に努める
- ・財団で策定する「個人情報保護マネジメントシステム」を随時見直し、継続的改善を図る
- ・個人情報保護措置の運用について定期的な内部監査を実施する

カルテ開示について

私たちは「医療における信頼の創造」をテーマに掲げて、従来の医療提供のあり方、患者さんとの関係のあり方を機会あるごとに見直してまいりました。

その一つに診療情報は患者さんご本人に提供することを目標に掲げております。

■カルテ開示の流れ



各詳細については、ホームページをご確認ください。

https://kawakita.or.jp/kmf/content_effort/trust.html#01

【お問い合わせ・ご相談】

河北医療財団 CS推進課 (03-3339-2121(代) 内線:4322)

1928-1948	河北真太郎が河北病院(内科、小児科/病床数30床)を開設、インターン教育研修開始
1950	医療法人財団 河北病院改組(職員数106名、病床数161床) 河北真太郎が理事長に就任
1952	河北真太郎退任(1953逝去) 河北恵文が第2代理事長に就任
1957	総合病院認可取得(職員数167名、病床数263床)、61年病床数275床
1965	特定医療法人 河北総合病院(職員数262名、病床数310床)
1971	70年383床(内結核病棟28床)、人工透析室運営開始、付属高等看護学院開設(22名)
1973	河北恵文逝去 南部鎮雄が第3代理事長に就任
1974	377床(内結核病棟28床)、75年結核病棟閉鎖のため病床数357床、76年352床
1978(50周年)	医療法人財団 河北総合病院に改称
1980	人工透析を独立した診療所として開設、河北総合病院看護専門学校と改称
1981	往診をシステム化した在宅患者サービス(THHS)を開始
1982	広報誌「かわびたる」創刊
1983	南部鎮雄逝去 平福一郎が第4代理事長に就任、医事業務をコンピュータ化
1986	杉並地域医療システムズ(SRHS)スタート
1988	河北博文が第5代理事長に就任、臨研修病院の指定を受ける
1990	河北総合病院健診クリニック(健診センター)開設
1992	河北葦クリニック(透析センター)開設
1994	河北杉並訪問看護ステーション開設、在宅介護支援センター「ケア24阿佐谷」開所
1998	環境マネジメントシステムISO14001認証取得(2006年3月更新終了)、(財)医療機能評価機構認定取得(河北総合病院)
2000	長野県蓼科に職員研修施設「N.K.Farm」開設
2001	河北リハビリテーション病院開設
2003	プライバシーマーク認証取得(2015年5月更新終了)
2004	河北総合病院分院開設、河北サテライトクリニック開設、介護老人保健施設シーダ・ウォーク開設
2005	医療法人初の社債発行、救急医療センター(ER)稼働
2006	地域医療支援病院承認(河北総合病院)、(財)医療機能評価機構リハビリ付加機能認定(河北リハビリテーション病院)、東京・杉並家庭医療学センター開設
2007	日本がん治療認定機構認定研修施設認定、東京都看護職員地域就業支援病院指定
2008	心臓・血管センター、脳卒中センター開設(河北総合病院)、KES・環境マネジメントシステム・スタンダードステップ2認証取得
2009	東京都脳卒中急性期医療機関認定、こども医療センター開設(河北総合病院)
2010	日本救急医学会救急科専門医指定施設認定(河北総合病院)、合同慰霊祭(於:神明宮)、リウマチ・関節センター開設、社会医療法人 河北医療財団に改組
2011	「心のケアセンター」始動、河北プラチナカード(産科)発行
2012	東京都大腸がん診療連携協力病院、リウマチ・関節センターからリウマチ・関節・膠原病センターに改称(河北総合病院)、日本政策投資銀行「DBJビジョナリーホスピタル」認定
2013	河北救急車稼働開始、マニティー・レディース スクエア開設(河北総合病院)、The Rehabilitation Hospital or the Pacific(ホノルル)と提携(河北リハビリテーション病院)
2014	入退院支援センター開設(河北総合病院)、東京杉並家庭医療学センターから河北家庭医療学センターへ改称、まちづくり団体「阿佐ヶ谷駅北東地区を考える会」設立
2015	標榜科目31科へ変更(河北総合病院)、標榜科目19科へ変更(河北総合病院分院) 病診連携会開催
2016	環境MGMT委員会「環境人づくり企業大賞2015」環境大臣賞受賞、河北バス 運行開始 医療法人財団 天翁会と統合合併
2017	標榜科目33科へ変更(河北総合病院)、看護師に係る特定行為研修開始(河北総合病院) 総務省「クラウド型EHR高度化事業」に参画
2009-2017	around杉並健康ライフ ～地域の人と考える～
2012-2016	東京マラソンチャリティランナー、2017新宿ハーフマラソンチャリティランナー 参加



第1代理事長 河北真太郎



1929年 河北病院外観



第2代理事長 河北恵文



1957年 河北病院外観



1962年 外来廊下



第3代理事長 南部鎮雄



第4代理事長 平福一郎



第5代理事長 河北博文

100周年にむかって 連想(報)・連・相)する 「地域医療」



社会医療法人 河北医療財団 理事長 **河北 博文**
医学博士 MBA(経営修士)

2017年度の振り返り

社会医療法人 河北医療財団は、2016年12月1日に医療法人財団 天翁会と合併し、2017年度を迎えました。この合併は、わが国の近未来社会の超高齢化を視野に入れたもので、杉並事業部と多摩事業部として、疾病管理から、健康を支援し、生活に寄り添った地域づくりに取り組んだ新たな一年でした。

杉並事業部では、4月に河北総合病院で看護師に係る特定行為研修を開始いたしました。これは、看護師が医師又は歯科医師の判断を待たず、診療の補助として手順書に基づき特定行為をおこなうことができるため、医師の働き方(働かせ方)改革に通じるものであります。

また、総務省「クラウド型EHR高度化事業」に参画し、区西部医療圏を対象とした「東京都区西部医療圏ネットワーク事業」として、2018年度運用開始いたしました。この事業と合わせて、杉並区における地域包括ケアシステムの構築に向け、Smart Society Sugunamiプロジェクトを企業とともに始動いたしました。河北総合病院は、1986年に杉並地域医療システムズ(SRHS)－診療録を共有・共用する診療

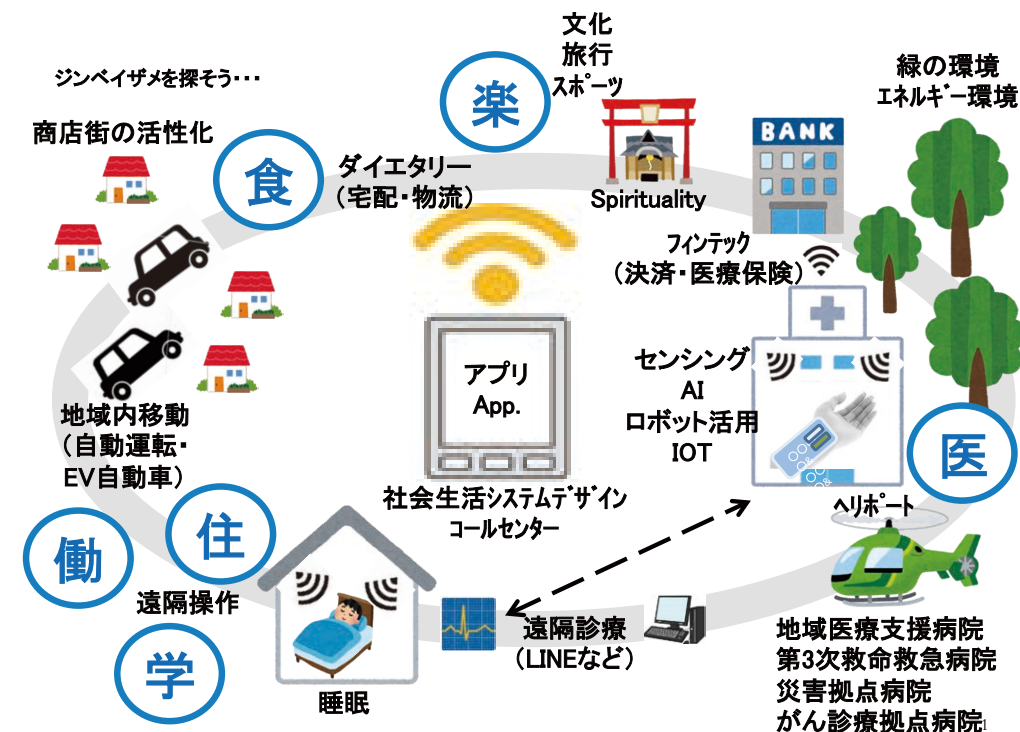
連携－に取り組み、2004年からは河北医療連携の会(KHC)へと発展させ、236か所(2018年1月現在)の地域、近隣の診療所が登録しております。今後さらにIT化を踏まえた構築・展開していきたいと考えております。

多摩事業部では、天本病院が病院機能評価を受審し認定されました。また、在宅療養支援病院としての機能強化のため、地域包括ケア病床を増床。在宅強化型のあい老人保健施設ともども高稼働を維持し、在宅医療部、地域包括ケア部の介護保険事業とともに、あいセーフテネットの安定・強化をおこないました。

Smart Society Sugunami

イマジネーションの基に、 近未来の杉並地域を創っていく

90周年を迎えた河北総合病院は老朽化もあり、隣接の「けやき屋敷」と呼ばれる敷地に病院の移転を計画しております。木は神が宿るといふことで、間伐材の活用も視野に入れ、自然を残し、環境に配慮した病院の建て直しです。建て直しは地域開発事業の一環としておこなうものであり、



Smart Society Sugunami

開発事業そのものの理念は「文化・教育・医療と緑」がよいのだと思います。

新病院が誕生すると、第3次救命救急病院、災害拠点病院、がん診療拠点病院などの認定を受けると、さらに地域医療に貢献することができます。社会を大きくつなげていく仕事は「健康」「生活」というキーワードでできるだろうと思います。その中心となるHealth Careから発信する地域医療ができると思うのです。医・食・住に加え、働く・学ぶ・楽しむ・移動することをICTで支え、さらに、財源を考えてフィンテックを入れていく。このように地域づくりがアプリで完成すると社会構図が変わってくるでしょう。

アニメ「鉄腕アトム」「ドラえもん」などを思い出すと、夢や希望に満ちた人たちの関わり、近未来の空間、空中を自由に飛び回る乗り物、そして人口知能を持ち人間の姿をしたロボットたちが生活に加わっている明るい社会が描かれております。そのような社会が想像よりも早く実現される気がします。作者の想像力、イマジネーションは尊敬に値すると感じております。河北医療財団は、現実と未来の両者を踏まえて、生命ある有機体としての医療を想像し続けていこうと思っております。それには、価値観の共有、問題意識の共有が不可欠です。

2025年に向けて、地域包括ケアシステムの構築が急務になっております。地域医療を担う財団として、杉並区における近隣医療機関との紹介・逆紹介に留まらず、ICTを活用した双方向の連携構築を図り、地域住民の皆さんとともにまちづくりをめざしてまいります。

「その人らしさ」を支えたい

その人らしく生きることに寄り添える 医療を考えていく

私たち医療者は、人間の尊厳という言葉に常に使い続けてまいりました。私は、人間の尊厳 = その人らしいことと定義しております。「生きる」ということは、死ぬことが前提ではなく、その人でなければできないことをすることです。自分自身、あるいはその人が何者であるかを見ていかなければいけない。「受容・傾聴・共感」をしながら、その人は何者なのかを見つめて、本人もそれに気が付き、自分でなければできないこと、自分ができることを社会とのつながりをつくっていくこと、その人らしく生きることに寄り添える医療を考えながら、それらが地域社会につながるよう支えていきたいと思っております。

わが国の近未来社会の超高齢化を視野に入れ、2016年12月1日に医療法人財団 天翁会(多摩)と社会医療法人 河北医療財団(杉並)は合併しました。これまでも、共通した価値観の下、事業を推進してまいりましたが、今後はそれら価値を共有しながら、疾病管理から健康を支援し、生活に寄り添った地域づくりを積極的におこなうことを2017年度の基本方針としました。

重点施策

価値観の共有と一体感の醸成

世の中に「怨(おmoiやり)と信頼」が溢れる社会にするために、医療から発信していきたいと考え、そのためには職員一人ひとりが、財団の考える価値観を理解し、実践していく必要があります。杉並事業部・多摩事業部として地域は異なっても同じ理念の下で、一人ひとりが力を発揮できるよう、また相乗効果が生まれるよう組織として働きかけてまいります。

経営基盤のさらなる強化

私たちは財団理念や価値観の下、事業を推進してまいりました。これからも継続し、さらなる発展をめざしております。そのためにも職員一人ひとりがコスト意識を持ち、予実管理および費用の適正化に努めていく必要があります。

地域に選ばれる病院No1をめざす

私たちが提供する医療・福祉サービスは、患者さんやご利用者の方に、安心して納得していただくことが信頼につながるものです。職員間においても同様です。ハード面では限界がありますが、私たち一人ひとりが意識することで補える部分も沢山あります。2016年度は、「患者不満足度ゼロ」に取り組みました。2017年度は、それらを発展させ、地域の方々に選ばれる病院・事業所づくりをめざします。

IOTを活用した異業種の活用

医療界におけるIOTの活用は、他の業種と比べ遅れております。様々な業種との交流を図り、医療・福祉におけるIOTの活用を検討してまいります。

杉並事業部

経営基盤の強化

中期経営計画2年目の年になります。病院建て替えにむけて、経常利益率5%を目標に取り組みます。また2017年度は、具体的にICTを導入し、業務の効率化を推進してまいります。

地域包括ケアシステムの構築

4月に地域医療連携推進法人制度が新たに創設されます。地域医療を担う財団として、杉並区における近隣医療機関との紹介・逆紹介に留まらず、ICTを活用した双方向の連携構築を図り、地域住民とともにまちづくりをめざします。

新病院建設にむけたデザイン創り

本院建て替えをめざし、人口構造や社会保険制度を踏まえた医療提供体制や、杉並区における財団各施設のあるべき姿を考えていく必要があります。そこから急性期病院としての役割・機能を設定し、プロセスを通して具現化してまいります。

診療部門における評価システムの構築

2016年度、目標管理制度による部署評価の方法が確立されました。今後は、診療部門の評価を多面的におこなうシステムを構築してまいります。

多摩事業部

在宅生活を支える医療・介護サービスの充実

地域包括ケアシステムの構築には、各サービスが有機的に連携・統合し最大限に機能を発揮することが必要です。多摩事業部の在宅医療・介護サービスが一体となって、「あいセーフティネット」の強化をめざします。

介護予防・生活支援サービスの強化

地域包括ケアシステム構築の一助として、「あいセーフティネット」の医療・介護サービスの充実とともに介護予防・生活支援サービスが重要です。特に主軸サービスの一つとして、介護予防および生活支援サービスを強化します。

外部関係機関とのネットワーク強化

これまで多摩事業部内の連携強化に重点をおいた事業運営をおこなってまいりましたが、さらなる発展には外部関係機関との連携が必要です。2017年度は各事業部がもっている特徴・機能を積極的に外部関係機関へPRし、先々を見据えた連携強化を図ってまいります。

組織の簡素化と効率化

多摩事業部の事業運営を支え・効果的におこなっていくためにも、組織体制の見直しをおこない、効率化を図ってまいります。

- 看護師に係る特定行為研修開始（河北総合病院）
- あいクリニック平尾、あい訪問看護ステーション平尾がコーシャハイム平尾に移転（多摩事業部）
- 総務省「クラウド型EHR高度化事業」に参画（杉並事業部）
- 第18回市民公開講座開催（多摩事業部）
- around杉並健康ライフ ―地域の人と考える― 開催（杉並事業部）
- 慰霊祭（杉並・多摩事業部）
- 河北透析クリニック開設（杉並事業部）

地域の皆さまとともに

地域の皆さまが住み慣れた場所で安心して生活ができるように、医療などを通じて皆さまの健康を守り、当財団スタッフと地域の皆さまが手と手を取り合って、よりよい地域社会を築いていくことをめざしております。

P.12

地域医療連携

急性期病院である河北総合病院は、地域のかかりつけ医(診療所・病院など)と連携し、よりよい地域医療を提供する「地域医療支援病院」として、2006年に東京都知事より承認を受けております。

P.14

職員の教育・研修

財団では、「教育」すること、「人財開発」することの真の目的を明確にする作業から始め、一つの教育理念に辿り着きました。組織としての「教育」は、「自立した自己として職員が成長することを支援すること」であり、教育を通して一人ひとりの職員が「自分は素晴らしい仕事に従事している」という満足感、充足感を実感することが重要であると考えます。知識、技術、態度はもとより職員一人ひとりが充実していることが、結果的に患者さんおよび地域の方々にとっての信頼・安心につながっていくとの信念に基づいております。

P.15

1 看護師に係る特定行為研修開始 (河北総合病院)

2017年2月27日付で、厚生労働省より「看護師の特定行為研修に係る指定研修機関」の指定を受けました。特定行為とは、看護師が手順書によりおこなう診療の補助であり、実践的な理解力、思考力、判断力、高度かつ専門的な知識および技能が特に必要とされる38行為のことです。「創部ドレーン管理」と「血糖コントロールに係る薬剤投与」の2行為について指定を受けました。財団の看護師7名が、研修生として1年間院内で研修を修了しました。2018年も看護師を対象に特定行為研修を開講いたします。当研修を修了することにより、看護師は医師または歯科医師の判断を待たず、診療の補助として手順書に基づき特定行為をおこなうことができます。



第1回看護師特定行為研修開講式

2 総務省「クラウド型EHR高度化事業」に参画(杉並事業部)

全国16か所で交付されている総務省「クラウド型EHR高度化事業」医療情報連携ネットワーク構築事業の交付先の一つとして採択されました。河北総合病院の病診連携は、1986年に厚生省(現:厚労省)のモデル事業として立ち上げた『杉並地域医療システムズ』に始まり、2004年からは、『河北医療連携の会』へと発展させ、充実した地域医療サービスを提供してまいりました。これまでの取り組みを活かし、東京区西部においても、病院・医科診療所・保険薬局・歯科診療所・介護事業所など、住民が普段利用される施設間で診療情報等を共有することで、よりよい医療・介護サービスの提供が実現することができます。



東京区西部ネット

3 慰霊祭開催(杉並・多摩事業部)

2017年7月に多摩事業部は、天本病院地下1階メモリアルームにおいて2016年6月からの1年、2018年3月に杉並事業部は阿谷山正覚寺世尊院において、河北総合病院、分院、河北サテライトクリニック、河北リハビリテーション病院、シーダ・ウォークで、2013年1月から5年にかけて残念ながら亡くなられた諸霊位に対して慰霊祭を執りおこないました。杉並事業部では、ご遺族の皆さまのご臨席のもと、当院の医師をはじめとした職員が哀悼の意を表するとともに、医療の進歩発展のため貴重なご遺体をご提供いただいた感謝をお伝えしました。ご遺族の方からは温かいお言葉とともに、病理解剖に対するご理解と慰霊祭開催の趣旨へのご賛同をいただいております。



阿谷山正覚寺世尊院にて

4 河北透析クリニック開設(杉並事業部)

「河北透析クリニック」(旧河北葦クリニック)は2018年3月5日に新規オープンいたしました。1971年より46年に渡り、河北総合病院は透析医療に取り組んでまいりました。「河北葦クリニック」は、1992年に河北総合病院から透析専門施設として独立し、地域の透析患者さんとともに歩んでまいりましたが、このたび名称を「河北透析クリニック」として隣接地に新規開設し、患者さんのプライバシーに配慮した準個室などをご用意しました。また、高齢患者さんが住み慣れた地域で継続して生活できるよう支援体制を整え、よりいっそう安心できる透析施設となるべく努力してまいります。



河北透析クリニック外観

地域の皆さまとともに

地域の皆さまが住み慣れた場所で安心して生活ができるように、医療などを通じて皆さまの健康を守り、当財団職員と地域の皆さまが手と手を取り合って、よりよい地域社会を築いていくことをめざしております。

セミナー・勉強会

杉並事業部「河北健康教室」

開催数:16回 参加人数:784名

主な内容:10年後も元気でいるために運動を始めましょう、糖尿病の薬物療法(内服)、上手な病院のかかり方、お口の健康教室、摂食嚥下障害、関節リウマチの最新知見、そけいヘルニア(脱腸)の最新治療 他

杉並第一小学校主催「命の授業」

年5回開催

杉並第一小学校より学年別の合同授業保護者参観の講師として、地域の病院である「河北総合病院」へ2015年より講師依頼をいただいております。様々な形の「命」を学ぶ授業として、「命の現場」で働く、医師、看護師、療法士を派遣しております。

多摩事業部

開催数:20回 参加人数:615名

主な内容:認知症はじめて教室、もっと元気が出る講座、愛宕かえで館連続健康講座、多摩市家族介護者教室 他

主催イベント

around杉並健康ライフ2017

— 地域の人と考える — (杉並事業部)

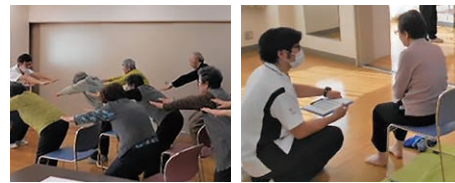
地域の皆さまと一緒に健康生活について考えるイベントとして、2009年より毎年開催している『around杉並健康ライフ』も9回目を迎えました。様々な講演会の他、検査体験、介護相談、地域施設紹介などおこない、中庭では屋上や、杉並区のキャラクターがイベントをさらに盛り上げ、600名以上の方にご来場いただきました。



体力測定会

(河北リハビリテーション病院)

河北リハビリテーション病院の喫茶コーナーにて地域の方、入院中の患者さん、ご家族を対象として体力測定会を実施。平均年齢との比較や現状の体力を確認する機会となり、ご自身の体の「気づき」に役立てられたイベントとなりました。



第18回市民公開講座

(多摩事業部)

毎年、地域の方向けの市民公開講座を開催しております。第18回市民公開講座のテーマは、『今から考える自分らしい最期-本当にできる?在宅での看取り-』。阿部多摩市長よりご挨拶をいただき、基調講演、シンポジウムを開催。今後も地域の皆さまに向け、高齢社会を生き抜くヒントになるような講演会をお届けしてまいります。



シーダ祭

(シーダ・ウォーク)

ご利用者、地域の皆さま向けのお祭りとして、ミニゲームや露店、ご利用者の皆さま方が制作された作品などの展示、バザーなど毎年開催しており、13回目を迎えました。高円寺阿波おどり連協会「菊水会菊水連」の皆さまによる迫力のパフォーマンスもあり、多くの方々に喜んでいただけたイベントとなりました。



地域ふれあい交流会

(河北リハビリテーション病院)

河北リハビリテーション病院を退院された患者さんと副院長の宮村による講演「退院後のリハビリ訓練で復職をどのようにしたか?」や、リハビリ訓練体験、リハビリグッズの展示の他、職員による歌やダンスの披露もあり、地域の皆さまとの一体感を感じられたイベントとなりました。



河北寄席

(河北総合病院)

河北総合病院 分院1階外来ロビーにて、「第八回 高円寺演芸まつり」“出張寄席”として初開催しました。入院患者さんやご家族、一般の来場者の方にお越しいただき、大いに笑って、楽しんでいただいたイベントとなりました。



地域イベント

すぎなみフェスティバル2017 (杉並事業部)

杉並区主催のすぎなみフェスティバルでは、「あなたの街の河北救急車」として、河北総合病院の救急車の展示および、救急救命士3名が参加しました。「河北救急車」の活動は2013年から始まり、現在までに約2,000件以上の搬送をおこなっております。



すぎなみ子ども・子育てメッセ (杉並事業部)

テーマ“来て 見て 知って 子育てのわ”に賛同し、河北総合病院小児科スタッフが「正しい手洗い」について、親子で楽しみながら学べる体験コーナーを出展しました。実際に体験することで、より手洗いの重要性を理解していただけるイベントとなりました。



すぎなみ美活クラブ (杉並事業部)

杉並区保健所健康推進課主催の「すぎなみ美活クラブ」全10回のうち、4回を当財団が受託しました。女性の「元氣とキレイ」を応援することを目的として、当財団では、医師、管理栄養士、理学療法士が女性特有の病気「乳がん」、「骨粗しょう症」予防のための食事バランス、骨に刺激を与える運動療法などをおこないました。



永山フェスティバル (多摩事業部)

永山フェスティバルは、地域住民、市民団体などとの交流を通じて地域の活性化、元氣な街づくりへつなげることを目的に、行政・民間・市民が一体となり、永山公民館と隣接するグリナード永山を会場として開催するイベントです。「あいセーフティネット」では、35年以上に渡り永山エリアを在宅ケアの拠点として、あいクリニックやあい訪問看護ステーションなどがサービスを展開。このイベントにも毎年参加しております。骨密度測定や親子で参加できる変身コーナーなど、当ブースには老若男女230人の方にご来場いただきました。



落合夏祭り (多摩事業部)

8月5、6日の2日間にわたり、37回目を迎える多摩センターの夏の一大イベント、落合夏祭盆踊り大会に出店しました。「あいセーフティネット」のブースでは、理学療法士などによる筋力測定や、子ども向けの輪投げゲームなどをご用意し、2日間で1,751名の方にご来場いただきました。



地域医療連携

急性期病院である河北総合病院は、地域のかかりつけ医(診療所・病院など)と連携し、よりよい地域医療を提供する「地域医療支援病院」として、2006年に東京都知事より承認を受けております。

杉並医療連携セミナー 開催数:18回 参加人数:496名

開催日	研修会名	参加者	開催日	研修会名	参加者	開催日	研修会名	参加者
4月11日	第20回 杉並心臓病カンファランス	46	7月18日	第3回 杉並消化器病カンファランス	30	2018年1月22日	杉並腎・泌尿器科セミナー	12
5月30日	足病・フットケアカンファランス	26	8月22日	第22回 杉並心臓病カンファランス	32	1月23日	第8回 城西地区小児病診連携懇話会	31
6月6日	第21回 杉並心臓病カンファランス	51	10月5日	第23回 杉並心臓病カンファランス	28	2月6日	第25回 杉並心臓病カンファランス	33
6月14日	第7回 城西地区小児病診連携懇話会	42	11月14日	第5回 城西地区骨粗鬆症ネットワーク	21	2月23日	第4回 杉並消化器病カンファランス	24
6月15日	第6回 杉並産婦人科カンファランス	16	11月17日	第1回 杉並心臓病カンファランス アプリケーション連携の会	12	3月1日	第7回 杉並産婦人科カンファランス	11
7月10日	NSN Hematology Network cference	23	12月5日	第24回 杉並心臓病カンファランス	35	3月1日	眼科勉強会	23

病診連携会開催

病診連携をすすめる会 (中野区)

開催日時:2017年7月24日
開催場所:中野区医師会館



河北総合病院病診連携会 (杉並区)

開催日時:2017年10月19日
開催場所:座・高円寺



教育ST事業公開多職種カンファランス (河北家庭医療学センター) 開催数:4回

河北家庭医療学センターでは、診療部門、外来看護部門、訪問看護部門、訪問リハビリ部門でテーマを出し合い、毎月1回の多職種カンファランスを開催し、職種を超えて1つのテーマについて学習し合うことに取り組んでまいりました。河北家庭医療学センターの1部門である河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷が東京都の訪問看護教育ステーションとして指定されたことを機に、この多職種カンファランスを地域の医療へ公開する試みを2017年より開始しました。このカンファランスを通じて、「私の役割はなんだろうか」「相手の職種の役割は何だろうか」「こんな意見や考え方もあるんだ」などと感じ、考える機会を持つことができます。

2017年のテーマは、①意思決定支援について ②フレイル・サルコペニアについて ③家族ケア ④がん患者のリハビリについて。実際の症例検討を基にして多職種で学び合いを実施。症例の中には、地域のケアマネジャーが実際に関与した例もあり、事業所を超えて症例の振り返りを行うことができました。杉並区で唯一の教育ステーションである当センターは、患者さんだけでなく、地域の医療者が集まる場、学習する場として存在し、これからも地域での役割を果たしてまいります。

医師・看護師・薬剤師のための在宅ケアセミナー (河北家庭医療学センター) 開催数:2回

杉並区の在宅医療に従事する医療関係者のボトムアップと在宅ケアの普及を目的として2013年より年2回、「医師・看護師・薬剤師のための在宅ケアセミナー」を開催しております。杉並区の高齢化率は20.1%と全国平均20.8%とほぼ等しく、全国レベルでの高齢化が進んでいるといえます。在宅支援診療所であり研修期間でもある当センターは、杉並区医師会、杉並区訪問看護ステーション連絡会、杉並区薬剤師会などの協力を得て以下の目的でセミナーは運営されております。

- 1.在宅ケアに関わる医療従事者のスキルアップをめざし定期的な学習の場を提供
- 2.在宅に関わる地域の多職種の交流の場を提供
- 3.在宅医療未経験の診療所の医師への動機づけ

参加人数は毎回50~70人ほどで、参加者では看護師が常に最も多く、次いで医師、薬剤師です。2017年は第9回「高齢者肺炎の治療とケア」、記念の第10回では、「多職種によるポリファーマシーへの取り組み」をテーマに開催されました。毎回、地域の開業医師との共同講演や、双方向的な勉強会となるようなグループワークをおこなっております。アンケート調査では満足度は高く、参加者そして主催する私たちのモチベーションも高くなっております。

職員の教育・研修

財団では、「教育」すること、「人財開発」することの真の目的を明確にする作業から始め、一つの教育理念に辿り着きました。組織としての「教育」は、「自立した自己として職員が成長することを支援する」ことであり、教育を通して一人ひとりの職員が「自分は素晴らしい仕事に従事している」という満足感、充足感を実感することが重要であると考えます。知識、技術、態度はもとより職員一人ひとりが充実していることが、結果的に患者さんおよび地域の方々にとっての信頼・安心につながっていくとの信念に基づいております。

教育理念

自立した自己として職員が成長することを支援する

教育方針

社会的資源としての人材を育成する

1. 組織理念の浸透
2. 専門職としての質の向上 (知識・技能・態度)
3. 自ら考え行動する個人の育成

特に教育には力を入れており、研修を通じて組織人としての成長は当然ですが、『世に優れた医療人を送り出す』ことも当財団の大切な役割と考えております。新入職員をはじめ、各階層ごとの研修を年間を通じておこなっており、専門職については、各職種ごとに医療現場にて教育ラダーを組み医療人として成長を担い、共通研修では組織人として、社会の一員としての成長を助ける内容としております。一般研修II以降は研修施設(長野県茅野市)にて組織理念の浸透などを病院に従事している様々な職種を交え実施しております。研修メニューには馬を使ったノンバーバルコミュニケーションや心のケア研修など幅広くおこなっており、「主体的に考え行動する」人財育成に力点を置いたプログラムとしております。また、財団内に約40の委員会を設けており、医療機関としてのあるべき姿、医療の質向上に努めております。

職員研修施設 N.K.Farm(Nature&Knowledge)

都会の喧騒、日々の業務から自己を開放し、自然にふれることで、我々も自然の一部であるとの認識に立ち返り、客観的に自らを見つめ直してもらうことを目的としております。一般的な机上での研修プログラムに加え、自然散策、農業体験、馬の世話、乗馬など、他では見られない取り組みやOJTの宿泊研修もおこなっております。



2017年度 研修実績

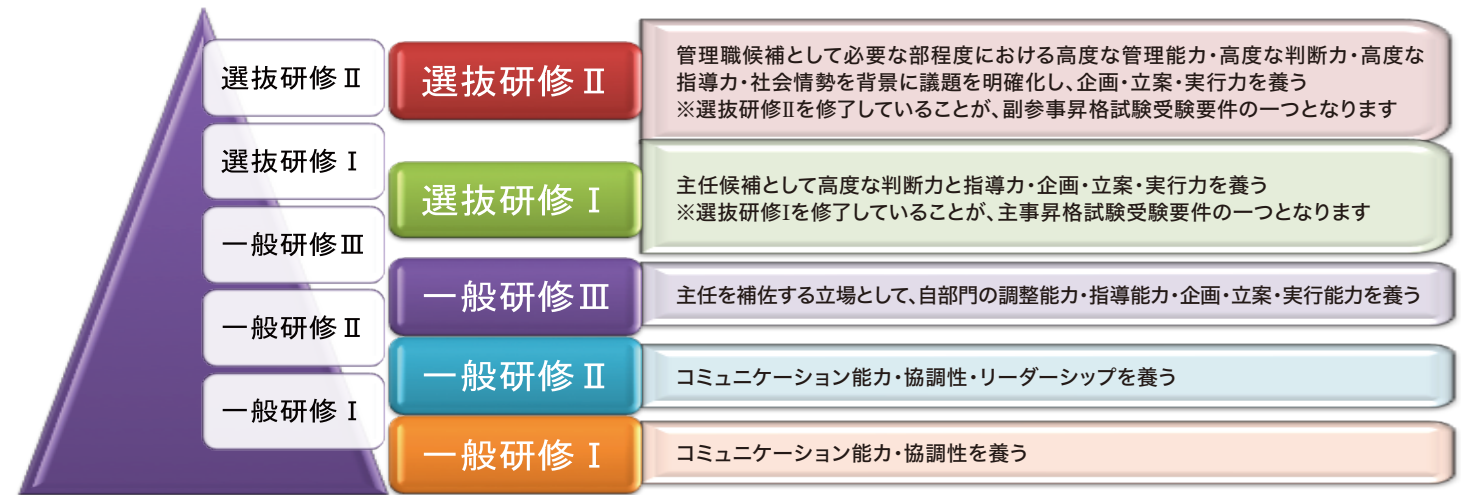
名称	開催数(回)	のべ参加数(名)
新入職員研修	1	141
通年採用者研修	2	87
新入職員フォローアップ研修	4	87
一般研修 I	5	172
一般研修 II	6	96
一般研修 III	5	66
選抜研修 I	34	952
選抜研修 II	12	180
主任研修	2	28
管理職研修	3	27
幹部研修	1	26
質向上研究会(診療の質向上委員会)	1	148
化学療法オリエンテーション(新入職員向け)(化学療法委員会)	2	28
感染症講演会(医療法上年2回の開催義務付け)	2	1,084
N95マスクフィッティング研修	3	118
吐物処理研修 臨床検査科接遇研修	2	51
正しい検体の取り扱い方研修	2	51
標準予防策研修	1	37
職業感染防止対策研修	1	37
手術部位感染を早期に発見しよう!研修(感染管理委員会/感染管理実行委員会)	1	34
PSM院内研究会(PSM(医療安全)委員会)	2	553
PEACE緩和ケア講習会(2日間)	1	32
緩和ケア勉強会(緩和ケア)	1	32
A P T 研修「施設における虐待防止を学ぶ」(シーダ・ウォーク)	1	41
A P T 研修「虐待防止について」(研修医向け)	1	15
A P T 研修「虐待防止について」(河北リハビリテーション病院) (虐待防止部会)	3	75

その他

河北透析クリニック

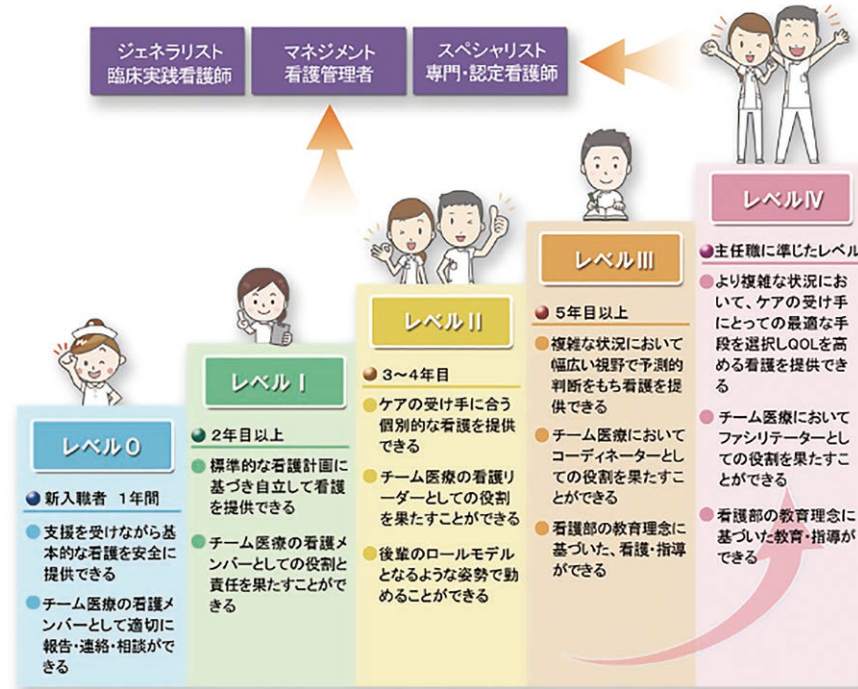
名称	開催数(回)	のべ参加数(名)
職員定例勉強会(薬剤・ケア・基礎知識等)	17	255
水曜スモール勉強会(①急変時勉強会、②リハビリ勉強会)	40	120
患者カンファレンス①	50	450
患者カンファレンス②アクセスカンファレンス	10	30
バスキューアアクセス勉強会	5	60
穿孔勉強会	8	15
自衛消防訓練(災害時アクションカード運用研修)	2	50
国際法務総合センター初任者業務研修	1	15
東日本成人矯正医療センター初任者業務研修	1	15
人工透析業務研修	1	15
矯正施設・矯正医療研修	1	15

財団共通研修



看護部

怒(おもいやり)の美しい看護実践ができる専門職業人を育成するために、看護師一人ひとりのキャリア開発に対するニーズおよび看護部組織全体の成長ニーズに対応する教育・研修を企画・実施しております。



名称	開催数(回)	のべ参加数(名)
入職時合同研修	2	88
入職時新人看護職員研修	10	280
新規入職者研修	11	283
クリニカルラダーレベル I 研修(卒後2年目)	4	71
クリニカルラダーレベル I 研修(卒後3年目)	4	62
クリニカルラダーレベル II 研修	2	44
クリニカルラダーレベル III 研修	8	73
臨床指導者研修	1	25
役割研修(プリセプター)	5	140
看護記録	1	22
部署公開研修	2	37
怒美会(怒の美しい看護部をつくる会)	1	29
感情労働(外部講師)	1	44
接遇/自分を大切に生きる(外部講師)	1	123
医療安全	3	64
感染管理	2	33
看護補助者研修	11	41
特定行為研修 血糖コントロールにかかわる薬剤投与関連	331時間	5
特定行為研修 創部ドレーン管理関連	351時間	5
看護専門実践研修 褥瘡管理	8	1
訪問看護実務研修	4	4
専門・認定看護師主催研修	4	91

医療技術職

名称	開催数(回)	のべ参加数(名)
医療ガス勉強会 ※安全・感染管理室とPOM課と共催	2	69
医療機器定期勉強会	10	299
医療機器勉強会(臨時開催)	49	281
医療機器購入時勉強会	3	40
接遇研修(臨床検査科)	1	36
採血実技研修(臨床検査科)	1	33
個人情報に関する研修(臨床検査科)	1	15
臨床検査技術勉強会	12	226
被ばく安全研修会	1	29
インビボ研修	1	1
被ばく低減施設研修	1	1
大腸CT前処置研修会	1	15
診療放射線技師実習施設指導者養成研修	1	1
マンモグラフィ研修会	2	2
胃がん検診X線撮影研修	2	2

シーダ・ウォーク

名称	開催数(回)	のべ参加数(名)
必須研修(感染・認知症・事故防止・R4・法令遵守・プライバシー)	9	250
接遇研修	1	32
介護職人向け向上研修	4	32
中途採用フォローアップ研修	2	4
その他 救急時対応1.2、オムツ研修など		

臨床研修医

名称	開催数(回)	のべ参加数(名)
初期研修医オリエンテーション(病院機能理解)	1	11
初期研修医 N K Farm 合宿研修(医師の心構え)	1	11
医師講義(症例教育)	49	22
外部講師による講義(症例教育)	5	22
採血実習	40	11
腹部エコー実習	20	11

河北リハビリテーション病院

名称	開催数(回)	のべ参加数(名)
新入職員研修(教育委員会)	1	24
医療機器安全研修(医療機器安全委員会)	4	251
医療安全・医薬品安全管理研修(PSM委員会)	4	222
個人情報保護研修(PP委員会)	2	111
感染研修(感染委員会)	4	256
地域包括システムにおける当院の役割(教育委員会)	1	52
N S T 症例検討会(NST委員会)	1	33
BPSD(認知症)について理解する(コンサルテーションリエゾンチーム)	1	47
心疾患とリハビリテーション	1	15
サルコペニア診療ガイドライン2017と最新のリハビリテーション栄養の実践	1	32
症例検討会(教育委員会)	3	132
財団内合同症例検討会(教育委員会)	1	131
褥瘡管理研修(褥瘡委員会)	1	40
接遇研修(接遇委員会)	1	124
KRA(カワキタ リハビリテーション アカデミー)	4	109
合同研修会(リハビリテーション部門)	1	150

環境へのおもいやり

河北医療財団は、1990年、経営方針の重要項目のひとつに「地球環境保全」を打ち出し、97年に環境活動を始め、98年、病院として初めてISO14001環境マネジメントシステム認証(2006年3月更新終了)を取得。2012年、医療業界では初めて「DBJ ビジヨナリーホスピタル」の評価認定をいただきました。2015年、環境省主催の「環境 人づくり企業大賞2015」において、環境大臣賞(大企業の部)をいただくなど、当財団の取り組みに対し高評価をいただいております。2008年より、KES環境マネジメントシステムの認証を取得し継続的に環境活動を続けております。

Topics 2017

「DBJビジヨナリーホスピタル」環境配慮に優れた病院として評価・認定

「DBJ ビジヨナリーホスピタル」とは、公益財団法人日本医療機能評価機構による「病院機能評価」の認定を受けた病院を対象に、株式会社日本政策投資銀行(DBJ)が開発した独自の環境評価・BCM評価システムにより、環境配慮、または防災および事業継続対策に優れた病院に対して、評価に応じて融資条件を設定する融資メニューです。今日、急速にのびているESG投資・融資の先駆けとなった仕組みです。
2017年度環境格付「環境への配慮に対する取り組みが先進的」として、受審医療機関の中では最高位のランクBをいただきました。※ランクは、A・B・C・D・対象外の5評価



環境マネジメントシステム

環境マネジメントシステム委員会で立案され、環境マネジメント・ディレクターの承認を受けた財団の環境年度計画を基に、各部署の環境プロモーターは自部署の「環境プログラム(年間計画)」を設定し、一年を通じ、部署独自の環境活動をおこなっております。2017年度の環境プロモーターは、56部署から64名が務めました。

活動例:ゴミ排出量の削減、グリーンカーテン設置(写真:右)、環境学習など



基本活動

財団では、廃棄物、エネルギー、排水処理についてのデータを蓄積し、廃棄物・エネルギーデータは、環境マネジメントシステム委員会と環境プロモーターに毎月報告し、恒常的なごみ分別・減量、省エネに活かしております。

廃棄物の適正処理・減量

一次分別として、全16種類(紙、新聞、雑誌、カン、ビン、ペットボトル、生ゴミ、廃プラ他、感染性廃棄物など)の分別をおこなっております。
外来ホールなどではゴミの種別ごとにゴミ箱を設置し、病院を利用する方にも分別にご協力いただいております。また、テープの巻き芯の回収・寄付による植樹活動や、感染症廃棄物用リサイクルペール缶の一部採用による途上国の子供たちへのワクチンの支援をおこなっております。

年度	2013	2014	2015	2016	2017
総排出量(t)	698.4	720.3	728.2	734.1	737.9
リサイクル率(%)	82.7	82.3	77.0	81.5	76.2

廃棄物排出量が増加の要因

建物の増築や職員増加と、2015年はコンポスの故障(6か月間)により、期間中、厨芥のリサイクルができなかったことにより。2017年は、紙ごみ処理費用削減を目的とした処理業者変更により、ペーパータオルが一般ごみ扱いとなりリサイクル率が低減しております。



電気・ガス関連

財団では、1997年よりコージェネレーションシステム*を実稼働させ、発電電力と商用電力との電源の二重化により、安定的な電力供給をおこなうとともに、夏場などのピーク電力の抑制にも実績を上げております。
また、財団内施設の省エネ効果が高いと判定された場所について、順次LED照明へと切り替えております。人が頻繁に出入りしないところについては人感センサーや省エネ電球を利用するなど、用途・機能に応じた対応をおこなっております。

コージェネレーションシステムとは

利用可能な複数のエネルギーを同時に生産し、運転効率を高めることで省エネルギーに役立てるものです。

年度	2013	2014	2015	2016	2017
電力使用量(kWh)	7,349,985	7,259,242	7,334,493	7,127,661	7,378,287
ガス使用量(m ³)	661,939	679,964	694,250	733,933	746,770
原油換算値	2,605	2,603	2,639	2,634	2,706

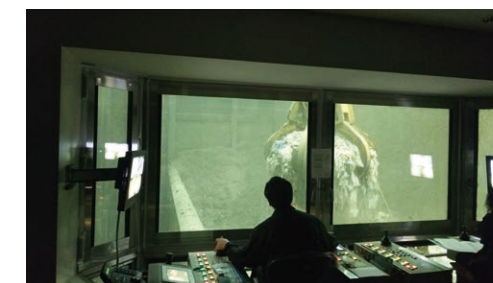
2014年度は、一部空調機を電気式よりガス式に変更したため、前年比で電力使用量減少、ガス使用量増大しました。
2016年度は、コージェネレーションシステム故障に伴い、3か月間は給湯ボイラーを使用したため、ガスエネルギー使用量が増大しました。
2017年度は、施設増(杉樹ビル)による給湯増を主因としてガス使用量が増大しました。

その他

- 冷暖房設定温度(夏期:26~28度、冬期:18~22度)、クールビズ・ウォームビズの実施
※患者さんの療養環境を優先しているため、実際の室温は推奨温度と異なる場合もあります。
- パソコン関連
パソコンは省エネ効果の高い製品を導入しております。また設置後も吸排気スペースを確保したり輝度調整などの省電力対策に努めております。
- 患者さんや来院者の方に優先的にエレベーターをご利用いただき、省エネのため、職員は原則、階段を使用しております。
- 感染性廃棄物専用ペール(容器)を使用し、感染性廃棄物の運搬・中間処理における流出や針刺し事故の防止など処理事業者の安全性にも配慮しております。

環境教育

- 職員向け 環境広報誌ISOS(イソス) 6回発行
- 財団の医療活動と環境活動との関連性を理解するため、財団職員向けに年数回の環境見学を実施
2017年度:他社(企業)環境活動の取り組み、医療廃棄物処理工場、一般清掃工場
- 環境ウォーキング
杉並の「生物多様性」探訪 阿佐谷~荻窪の古刹と晩秋の風景を巡る(11月)



環境監査

- 環境内部監査(年1回)と、外部審査機関「特定非営利活動法人 KES環境機構策定の環境マネジメント規格」による外部審査を受け、活動の見直しや改善を図っております。

詳細はホームページをご覧ください。

https://kawakita.or.jp/kmf/content_effort/sympathy.html

統計 杉並事業部

河北総合病院／分院／河北サテライトクリニック

入院診療実績

		2015年度	2016年度	2017年度
内科	入院患者延数	77,902	79,146	78,801
	新入院患者数	5,974	5,897	5,497
	1日平均患者数	212.8	216.8	215.9
	前年比	112.4%	101.6%	99.6%
小児科	入院患者延数	6,116	5,136	5,065
	新入院患者数	1,389	1,304	1,321
	1日平均患者数	16.7	14.1	13.9
	前年比	115.7%	84.0%	98.6%
産婦人科	入院患者延数	5,415	5,811	5,617
	新入院患者数	954	1,004	884
	1日平均患者数	14.8	15.9	15.4
	前年比	101.9%	107.3%	96.7%
耳鼻咽喉科	入院患者延数	3,517	3,668	3,843
	新入院患者数	641	658	697
	1日平均患者数	9.6	10.0	10.5
	前年比	161.0%	104.3%	104.8%
外科	入院患者延数	10,840	12,721	13,314
	新入院患者数	1,213	1,203	1,306
	1日平均患者数	29.6	34.9	36.5
	前年比	85.7%	117.4%	104.7%
形成・美容外科	入院患者延数	—	—	231
	新入院患者数	—	—	0
	1日平均患者数	—	—	0.6
	前年比	—	—	—
脳神経外科	入院患者延数	3,424	3,779	3,935
	新入院患者数	256	241	195
	1日平均患者数	9.4	10.4	10.8
	前年比	119.6%	110.4%	104.1%
心臓血管外科	入院患者延数	1,632	1,203	429
	新入院患者数	52	47	53
	1日平均患者数	4.5	3.3	0.8
	前年比	82.7%	73.7%	35.7%
呼吸器外科	入院患者延数	0	0	0
	新入院患者数	0	0	0
	1日平均患者数	—	—	—
	前年比	—	—	—
皮膚科	入院患者延数	1,369	1,536	1,939
	新入院患者数	124	117	140
	1日平均患者数	3.7	4.2	5.3
	前年比	119.8%	112.2%	126.2%
泌尿器科	入院患者延数	2,137	1,977	2,530
	新入院患者数	380	352	427
	1日平均患者数	5.8	5.4	6.9
	前年比	128.5%	92.5%	128.0%
眼科	入院患者延数	669	680	652
	新入院患者数	807	766	710
	1日平均患者数	1.8	1.9	1.8
	前年比	89.1%	101.6%	95.9%
整形外科	入院患者延数	17,016	13,584	15,154
	新入院患者数	908	846	940
	1日平均患者数	46.5	37.2	41.5
	前年比	105.3%	79.8%	111.6%
合計	入院患者延数	130,037	129,241	131,510
	新入院患者数	12,698	12,435	12,170
	1日平均患者数	355.3	354.1	360.3
	前年比	109.0%	99.4%	101.8%
診療日数	366日	365日	365日	

平均在院日数の推移

		単位:日			2017年度詳細	
	2015年度	2016年度	2017年度	本院	分院	
4月	11.4	10.9	11.2	10.0	19.3	
5月	11.0	12.1	11.5	10.6	17.1	
6月	10.1	10.4	10.9	10.1	15.6	
7月	10.1	11.0	11.4	10.4	17.5	
8月	10.9	10.5	10.8	9.8	17.3	
9月	10.7	10.8	11.2	10.4	16.2	
10月	10.7	11.1	11.9	11.0	16.9	
11月	11.3	11.2	12.1	11.2	17.5	
12月	10.5	10.6	12.0	11.2	16.9	
1月	11.8	13.1	14.5	13.2	23.1	
2月	11.1	11.0	12.4	11.6	16.6	
3月	11.4	11.4	11.6	10.6	17.7	
合計	10.9	11.1	11.7	10.8	17.5	

科別 平均在院日数

		単位:日			2017年度詳細	
	2015年度	2016年度	2017年度	本院	分院	
内科	12.4	13.3	14.4	13.3	17.4	
小児科	4.8	4.3	4.4	4.4		
産婦人科	5.8	6.4	6.7	6.7		
耳鼻咽喉科	5.4	5.5	5.4	5.4		
外科	9.6	11.7	12.4	12.4		
形成・美容外科	—	—	13.4	13.4		
脳神経外科	13.4	15.2	18.3	18.3		
心臓血管外科	33.9	23.4	8.4	8.4		
呼吸器外科	—	—	—	—		
皮膚科	10.4	12.2	13.2	12.4	23.7	
泌尿器科	7.1	6.6	7.4	7.4		
眼科	1.2	0.8	0.7	0.7		
整形外科	18.6	16.0	15.8	15.8		
合計	10.9	11.1	11.7	10.8	17.5	

入退院経路

		単位:人									
退院経路	入院経路	通院不要	当院外来	診療所	他病院外来	他病院入院	他病院入院 (分院→河北総合病院)	死亡	自主退院	その他	合計
当院外来		403	4,962	520	185	664	34	127	6	70	6,971
診療所		231	2,169	697	63	255	13	54	4	40	3,526
他病院外来		42	377	26	46	73	0	13	3	6	586
他病院入院		2	78	13	6	168	1	40	1	16	325
他病院入院 (河北総合病院→分院)		3	154	60	14	51	22	43	1	38	386
院内出生		0	80	1	1	2	0	0	0	0	84
その他		5	130	13	3	121	3	43	1	431	750
合計		686	7,950	1,330	318	1,334	73	320	16	601	12,628

年齢別患者数(入院)

		単位:人					
年齢区分		2015年度		2016年度		2017年度	
0～14歳		6,636	24.1%	5,630	21.3%	5,629	21.4%
15～64歳		27,546	100.0%	26,430	100.0%	26,322	100.0%
65～69歳		9,332	33.9%	9,992	37.8%	8,704	33.1%
70～74歳		12,579	45.7%	10,780	40.8%	11,300	42.9%
75歳以上		73,944	268.4%	76,382	289.0%	79,555	302.2%
合計		130,037		129,215		131,510	

病床利用率の推移

		※稼働病床数より算出		
病棟		2015年度	2016年度	2017年度
本館1階ICU		72.2%	65.1%	73.9%
本館2階ICU		62.1%		
CCU		82.8%	78.4%	84.1%
ICU・CCU計		75.1%	71.7%	79.0%
HCU		76.6%	58.3%	67.6%
本館2階		73.3%	72.1%	79.0%
本館3階		83.2%	85.2%	89.3%
本館4階		94.7%	93.7%	93.8%
本館5階		96.8%	97.0%	94.0%
東館2階		93.0%	87.3%	89.9%
東館3階		94.0%	92.5%	95.2%
東館4階		82.9%	88.1%	89.7%
新館2階		78.5%	80.4%	74.6%
新館4階		70.0%	59.1%	59.2%
一般病棟計		87.7%	86.6%	87.7%
本院計		87.0%	85.4%	86.9%
分院2階		97.1%	94.0%	95.9%
分院3階		97.0%	94.2%	95.2%
分院計		97.0%	94.1%	95.6%
合計		88.9%	87.0%	88.5%

1.本館2階ICU:2015年10月31日で廃止。

2.HCU:2015年11月1日より運用開始(4床)。
⇒12月1日より8床に変更。

3.本館2階:2015年4月27日より、16床の内8床を短期滞在(～3日)等、内8床を救急用病床として運用。
⇒2015年12月1日より、救急用8床の内4床をHCUとして運用。

4.本館4階:2015年4月より、53床から45床へ変更。

5.東館4階:2015年4月27日からは、一般病棟として19床稼働、7月1日より38床で運用。

外来診療実績

単位：人

		2015年度	2016年度	2017年度
内科	外来患者延数	155,566	160,360	159,404
	新外来患者数	17,511	20,102	18,351
	1日平均患者数	527.3	545.4	542.2
	前年比	104.6%	103.1%	99.4%
小児科	外来患者延数	28,866	32,148	31,116
	新外来患者数	8,270	10,647	10,962
	1日平均患者数	97.9	109.3	105.8
	前年比	118.9%	111.4%	96.8%
産婦人科	外来患者延数	22,245	22,581	20,979
	新外来患者数	2,027	1,960	2,031
	1日平均患者数	75.4	76.8	71.4
	前年比	105.9%	101.5%	92.9%
耳鼻咽喉科	外来患者延数	11,594	10,807	11,914
	新外来患者数	2,161	2,078	2,284
	1日平均患者数	39.3	36.8	40.5
	前年比	93.8%	93.2%	110.2%
外科	外来患者延数	14,975	15,909	14,980
	新外来患者数	1,651	2,098	1,633
	1日平均患者数	50.8	54.1	51.0
	前年比	96.9%	106.2%	94.2%
形成・美容外科	外来患者延数	—	—	1,872
	新外来患者数	—	—	183
	1日平均患者数	—	—	6.4
	前年比	—	—	—
脳神経外科	外来患者延数	5,651	4,134	3,712
	新外来患者数	1,514	589	356
	1日平均患者数	21.1	14.1	12.6
	前年比	103.3%	73.2%	89.8%
心臓血管外科	外来患者延数	1,655	1,854	1,919
	新外来患者数	29	74	83
	1日平均患者数	11.9	6.3	6.5
	前年比	92.4%	112.0%	103.5%
呼吸器外科	外来患者延数	33	37	182
	新外来患者数	1	4	13
	1日平均患者数	0.8	0.1	0.6
	前年比	73.3%	112.1%	491.9%
皮膚科	外来患者延数	21,358	23,215	23,206
	新外来患者数	2,888	3,208	2,806
	1日平均患者数	72.4	79.0	78.9
	前年比	103.9%	108.7%	100.0%
泌尿器科	外来患者延数	15,946	14,729	14,790
	新外来患者数	1,316	941	938
	1日平均患者数	54.1	50.1	50.3
	前年比	104.4%	92.4%	100.4%
眼科	外来患者延数	13,198	13,593	13,257
	新外来患者数	1,317	1,632	1,457
	1日平均患者数	44.7	46.2	45.1
	前年比	106.1%	103.0%	97.5%
整形外科	外来患者延数	40,757	40,281	38,349
	新外来患者数	5,362	5,494	4,986
	1日平均患者数	138.2	137.0	130.4
	前年比	102.4%	98.8%	95.2%
神経科	外来患者延数	9,551	10,190	9,849
	新外来患者数	120	130	158
	1日平均患者数	32.4	34.7	33.5
	前年比	99.4%	106.7%	96.7%
リハビリテーション科	外来患者延数	471	77	—
	新外来患者数	7	2	—
	1日平均患者数	1.6	0.3	—
	前年比	125.3%	16.3%	—
合計	外来患者延数	341,866	349,915	345,529
	新外来患者数	44,174	48,959	46,241
	1日平均患者数	1,158.9	1,190.2	1,175.3
	前年比	104.5%	102.4%	98.7%
診療日数		295日	294日	294日

※救急外来患者含む

年齢別患者数(外来)

単位：人

年齢区分	2015年度		2016年度		2017年度	
0～14歳	35,083	10.3%	38,317	11.0%	37,302	10.8%
15～64歳	139,575	40.8%	140,243	40.1%	136,800	39.6%
65～69歳	32,151	9.4%	33,974	9.7%	31,509	9.1%
70～74歳	33,996	9.9%	32,805	9.4%	33,338	9.6%
75歳以上	101,061	29.6%	104,576	29.9%	106,580	30.8%
合計	341,866		349,915		345,529	

紹介率・逆紹介率(本院のみ)

	2015年度	2016年度	2017年度
紹介率(%)	74.5%	73.7%	78.1%
紹介患者数(人)	9,771	10,137	10,278
逆紹介率(%)	52.5%	49.0%	47.4%
逆紹介患者数(人)	6,889	6,744	6,245
初診患者数(人)	13,110	13,756	13,165

- 新紹介率 = 紹介患者数 / 初診患者数(救急搬送患者を除く)
- 逆紹介率 = 逆紹介患者数 / 初診患者数
(地域医療支援病院算定式に則る)

救急患者数

単位：人

		2015年度		2016年度		2017年度	
		外来	内入院	外来	内入院	外来	内入院
内科	延患者数	11,590	3,486	11,472	3,306	9,743	2,891
	入院率		30.1%		28.8%		29.7%
小児科	延患者数	6,360	565	6,749	543	5,533	483
	入院率		8.9%		8.0%		8.7%
産婦人科	延患者数	671	335	707	411	606	319
	入院率		49.9%		58.1%		52.6%
耳鼻咽喉科	延患者数	192	54	269	87	220	57
	入院率		28.1%		32.3%		25.9%
外科	延患者数	1,553	405	1,412	363	1,621	360
	入院率		26.1%		25.7%		22.2%
脳神経外科	延患者数	1,668	159	1,349	139	1,285	105
	入院率		9.5%		10.3%		8.2%
心臓血管外科	延患者数	10	5	3	2	3	1
	入院率		50.0%		66.7%		33.3%
呼吸器外科	延患者数	0	0	0	0	0	0
	入院率		—		—		—
皮膚科	延患者数	500	17	517	19	171	7
	入院率		3.4%		3.7%		4.1%
泌尿器科	延患者数	593	20	529	16	396	25
	入院率		3.4%		3.0%		6.3%
眼科	延患者数	9	2	5	2	2	0
	入院率		22.2%		40.0%		0.0%
整形外科	延患者数	2,911	397	2,549	326	2,378	321
	入院率		13.6%		12.8%		13.5%
神経科	延患者数	10	0	1	0	1	0
	入院率		0.0%		0.0%		0.0%
合計	延患者数	26,067	5,445	25,562	5,214	21,959	4,569
	月平均	2,172	454	2,130	435	1,830	381
	入院率		20.9%		20.4%		20.8%

入院患者延数

(診療日数 365日) 単位：人

	内科	小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	外科	形成・美容外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	整形外科	合計
河北総合病院	52,557	5,065	5,617	3,843	13,314	231	3,935	429	0	1,677	2,530	652	15,154	105,004
分院	26,244									262				26,506
計	78,801	5,065	5,617	3,843	13,314	231	3,935	429	0	1,939	2,530	652	15,154	131,510
1日平均	215.9	13.9	15.4	10.5	36.5	0.6	10.8	1.2	0.0	5.3	6.9	1.8	41.5	360.3

新入院患者数

(診療日数 365日) 単位：人

	内科	小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	外科	形成・美容外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	整形外科	合計
河北総合病院	4,361	1,321	884	697	1,306		195	53		135	427	710	940	11,029
分院	1,136									5				1,141
計	5,497	1,321	884	697	1,306	0	195	53	0	140	427	710	940	12,170
1日平均	15.1	3.6	2.4	1.9	3.6	0.0	0.5	0.1	0.0	0.4	1.2	1.9	2.6	33.3

外来患者延数

(診療日数 294日) 単位：人

	内科	小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	外科	形成・美容外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	整形外科	神経科	合計
河北総合病院	25,034	16,800	20,979	11,914	14,980	1,779	3,712	1,919	182	3	14,790	40	21,060	117	133,309
分院	63,707	14,316												9,732	87,755
河北サテライトクリニック	70,663					93				23,203		13,217	17,289		124,465
計	159,404	31,116	20,979	11,914	14,980	1,872	3,712	1,919	182	23,206	14,790	13,257	38,349	9,849	345,529
1日平均	542.2	105.8	71.4	40.5	51.0	6.4	12.6	6.5	0.6	78.9	50.3	45.1	130.4	33.5	1,175.3

新外来患者数

(診療日数 294日) 単位：人

	内科	小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	外科	形成・美容外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	整形外科	神経科	合計
河北総合病院	10,229	4,881	2,031	2,284	1,633	181	356	83	13		938	2	1,995		24,626
分院	2,703	6,081												158	8,942
河北サテライトクリニック	5,419					2				2,806		1,455	2,991		12,673
計	18,351	10,962	2,031	2,284	1,633	183	356	83	13	2,806	938	1,457	4,986	158	46,241
1日平均	62.4	37.3	6.9	7.8	5.6	0.6	1.2	0.3	0.0	9.5	3.2	5.0	17.0	0.5	157.3

手術件数

		単位:件													
		産婦人科	耳鼻咽喉科	外科	形成・美容外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	整形外科	その他	合計	月平均
2015年度	延件数 前年比	401 104.0%	226 132.0%	770 100.0%	- -	160 113.0%	79 54.0%	0 -	31 517.0%	348 113.0%	875 103.0%	970 104.0%	75 -	3,935 106.0%	327.9
2016年度	延件数 前年比	407 101.0%	217 96.0%	739 96.0%	- -	152 95.0%	61 77.0%	0 -	35 113.0%	316 91.0%	835 95.0%	898 93.0%	72 -	3,732 95.0%	311.0
2017年度	延件数 前年比	365 90.0%	251 116.0%	767 104.0%	128 -	163 107.0%	121 198.0%	0 -	29 83.0%	363 115.0%	760 91.0%	988 110.0%	26 -	3,961 106.0%	330.1

麻酔件数（2017年度）

		単位:件												
		産婦人科	耳鼻咽喉科	外科	形成・美容外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	皮膚科	泌尿器科	眼科	整形外科	その他	合計
全麻	延件数 内 (臨時手術件数)	209 (26)	227 (3)	652 (174)	- -	98 (32)	21 (1)		1	142 (1)	3	442 (33)	1	1,796 (270)
硬麻・腰麻	延件数 内 (臨時手術件数)	114 (46)		63 (5)	- -					130 (2)	3	358 (19)		668 (72)
局麻(その他)	延件数 内 (臨時手術件数)	42 (4)	24	180 (27)	- -	65 (45)	100 (4)		28 (4)	91 (4)	754 (3)	188 (34)	25	1,497 (125)
合計	延件数 内 (臨時手術件数)	365 (76)	251 (3)	895 (206)	- -	163 (77)	121 (5)	0 (0)	29 (4)	363 (7)	760 (3)	988 (86)	26 (0)	3,961 (467)

内視鏡検査件数の推移

		単位:件		
		2015年度	2016年度	2017年度
入院		1,802 (434)	1,762 (366)	1,820 (485)
外来		5,222 (888)	4,814 (757)	4,905 (790)
合計		7,024 (1,322)	6,576 (1,123)	6,725 (1,275)
月平均		585.3 (110.2)	548.0 (93.6)	560.4 (106.3)
前年比		104.4%	93.6%	102.3%

※() = 内ポリペクトミー & 手術件数

病理検査件数の推移

		単位:件		
		2015年度	2016年度	2017年度
組織診	入院	2,229	2,169	2,406
	外来	3,010	2,790	3,083
	計	5,239	4,959	5,489
	月平均	437	413	457
	前年比	107.3%	94.7%	110.7%
細胞診	入院	991	1,206	1,268
	外来	18,180	18,762	18,229
	計	19,171	19,968	19,497
	月平均	1,598	1,664	1,625
	前年比	104.0%	104.2%	97.6%

分娩件数の推移

		単位:件		
		2015年度	2016年度	2017年度
合計		468	531	468
月平均		39.0	44.3	39.0
前年比		112.8%	113.5%	88.1%

剖検状況の推移

		単位:件		
		2015年度	2016年度	2017年度
院内死亡退院数(人)		319	369	320
剖検数(件)		14	14	10
剖検率(%)		4.4%	3.8%	3.1%

臨床検査件数の推移

		2015年度			2016年度			2017年度		
		入院	外来	計	入院	外来	計	入院	外来	計
一般	検査件数	10,391	145,593	155,984	10,402	144,849	155,251	9,194	145,971	155,165
	月平均	866	12,133	12,999	867	12,071	12,938	766	12,164	12,930
	前年比			24.6%			99.5%			99.9%
血液	検査件数	230,425	661,202	891,627	215,637	669,850	885,487	219,822	665,838	885,660
	月平均	19,202	55,100	74,302	17,970	55,821	73,791	18,319	55,487	73,805
	前年比			94.7%			99.3%			100.0%
免疫	検査件数	77,063	310,104	387,167	72,580	313,629	386,209	74,337	319,750	394,087
	月平均	6,422	25,842	32,264	6,048	26,136	32,184	6,195	26,646	32,841
	前年比			132.7%			99.8%			102.0%
細菌	検査件数	19,690	30,406	50,096	19,635	28,905	48,540	17,754	27,340	45,094
	月平均	1,641	2,534	4,175	1,636	2,409	4,045	1,480	2,278	3,758
	前年比			109.2%			96.9%			92.9%
生化学	検査件数	478,329	1,984,626	2,462,955	453,704	2,001,955	2,455,659	479,370	2,004,255	2,483,625
	月平均	39,861	165,386	205,246	37,809	166,830	204,638	39,948	167,021	206,969
	前年比			102.0%			99.7%			101.1%
生理機能	検査件数	3,817	26,923	30,740	4,471	28,017	32,488	4,625	29,487	34,112
	月平均	318	2,244	2,562	373	2,335	2,707	385	2,457	2,843
	前年比			105.2%			105.7%			105.0%
合計	検査件数	819,715	3,158,854	3,978,569	776,429	3,187,205	3,963,634	805,102	3,192,641	3,997,743
	月平均	68,310	263,238	331,547	64,702	265,600	330,303	67,092	266,053	333,145
	前年比			91.3%			91.3%			100.9%

※システム上の都合により時間外を含む。

		単位:件		
		合計	2016年度	2017年度
外注	合計	100,203	102,826	100,258
	月平均	8,350	8,569	8,355
	前年比	104.9%	102.6%	97.5%

画像診断検査件数の推移

		単位:件		
		2015年度	2016年度	2017年度
一般撮影	入院	25,579	25,112	23,947
	外来	60,730	56,442	52,215
	計	86,309	81,554	76,162
	月平均	7,192	6,796	6,347
	前年比	98.7%	94.5%	93.4%
造影・透視	入院	1,132	1,012	1,074
	外来	129	121	139
	計	1,261	1,133	1,213
	月平均	105	94	101
	前年比	101.4%	89.8%	107.1%
R I	入院	82	59	61
	外来	369	312	353
	計	451	371	414
	月平均	38	31	35
	前年比	122.6%	82.3%	111.6%
血管造影	入院	1,580	1,468	1,652
	外来	35	76	85
	計	1,615	1,544	1,737
	月平均	135	129	145
	前年比	113.7%	95.6%	112.5%

CT検査件数の推移

		単位:件		
		2015年度	2016年度	2017年度
入院		3,552	3,481	3,486
外来		17,129	16,588	16,005
合計		20,681	20,069	19,491
月平均		1,723	1,672	1,624
1日平均		70.1	68.3	66.3
前年比		100.9%	97.0%	97.1%
稼働日数		295日	294日	294日

MRI検査件数の推移

		単位:件		
		2015年度	2016年度	2017年度
入院		1,655	1,584	1,514
外来		5,529	5,922	5,756
合計		7,184	7,506	7,270
月平均		599	626	606
1日平均		24.4	25.5	24.7
前年比		98.9%	104.5%	96.9%
稼働日数		295日	294日	294日

※ 1.5T MRI装置: 2015年12月30日~2016年1月13日はアップグレードに伴い検査停止

リハビリテーション実施件数の推移

		単位:件		
		2015年度	2016年度	2017年度
心大血管	入院	12,098	11,937	12,645
	外来	1,372	1,090	1,009
	計	13,470	13,027	13,654
脳血管	入院	74,843	36,242	37,047
	外来	1,162	1,139	975
	計	76,005	37,381	38,022
廃用症候群等	入院	-	35,431	38,359
	外来	-	110	115
	計	0	35,541	38,474
運動器	入院	27,887	24,042	23,070
	外来	22,176	22,846	21,847
	計	50,063	46,888	44,917
呼吸器	入院	22,135	19,602	18,148
	外来	44	51	33
	計	22,179	19,653	18,181
がん	入院	-	6,349	7,031
	外来	-	0	0
	計	0	6,349	7,031
合計	入院	136,963	133,603	136,300
	外来	24,754	25,236	23,979
	計	161,717	158,839	160,279
	月平均	13,476	13,237	13,357
	前年比	101.3%	98.2%	100.9%

2016年度より廃用症候群等、がんを分けて集計

● STとナーズの共同作業

		単位:件		
		合計	2016年度	2017年度
摂食機能療法	入院	331	50	532

超音波検査件数

		2015年度	2016年度	2017年度
超音波室	入院	5,292	4,773	4,887
	外来	13,137	13,504	13,650
	計	18,429	18,277	18,537
	月平均 1日平均 前年比	1,536 62.5 100.8%	1,523 62.2 99.2%	1,545 63.1 101.4%
泌尿器科	入院	22	15	20
	外来	1,349	1,200	920
	計	1,371	1,215	940
産婦人科	入院	301	390	281
	外来	5,312	5,376	5,316
	計	5,613	5,766	5,597
総合計	入院	5,615	5,178	5,188
	外来	19,798	20,080	19,886
	計	25,413	25,258	25,074
	月平均 1日平均 前年比	2,118 86.1 103.1%	2,105 85.9 99.4%	2,090 85.3 99.3%
	稼働日数	295日	294日	294日

骨密度検査件数

		2015年度	2016年度	2017年度
入院	入院	59	67	48
	外来	1,345	1,452	1,586
	計	1,404	1,519	1,634
月平均	月平均	117.0	126.6	136.2
	1日平均	4.8	5.2	5.6
	前年比	112.5%	108.2%	107.6%
	稼働日数	295日	294日	294日

内服薬処方箋

		2015年度	2016年度	2017年度
枚数	枚数	74,256	74,990	70,568
	月平均	6,188	6,249	5,881
	前年比	101.7%	101.0%	94.1%
	前年比	101.7%	101.0%	94.1%
調剤件数	件数	158,559	153,718	149,588
	月平均	13,213	12,810	12,466
	前年比	98.5%	96.9%	97.3%
	前年比	98.5%	96.9%	97.3%
投薬日数	日数	937,927	894,388	908,747
	月平均	78,161	74,532	75,729
	前年比	99.0%	95.4%	101.6%
	前年比	99.0%	95.4%	101.6%

注射処方箋

		2015年度	2016年度	2017年度
枚数	枚数	43,870	43,775	43,793
	月平均	3,656	3,648	3,649
	前年比	106.3%	99.8%	100.0%
件数	件数	124,006	122,177	120,832
	月平均	10,334	10,181	10,069
	前年比	96.8%	98.5%	98.9%
剤数	剤数	285,517	274,157	268,723
	月平均	23,793	22,846	22,394
	前年比	93.0%	96.0%	98.0%

薬剤加算指導件数

		2015年度	2016年度	2017年度
薬剤管理指導件数	件数	17,228	19,354	18,322
	前年比	114.8%	112.3%	94.7%
麻薬管理指導加算件数	件数	219	236	277
	前年比	97.8%	107.8%	117.4%
退院時薬剤情報管理指導件数	件数	6,676	6,720	6,323
	前年比	118.3%	100.7%	94.1%
化学療法加算枚数	枚数	1,898	2,282	2,250
	前年比	88.5%	120.2%	98.6%
その他無菌製剤枚数(加算)	枚数	202	893	868
	前年比	82.4%	442.1%	97.2%

栄養指導件数

			2015年度	2016年度	2017年度
個人指導	入院	加算	1,730	1,799	2,352
		非加算	5,151	6,509	9,822
	外来	加算	1,256	1,257	1,157
		非加算	1,799	1,736	1,344
集団指導	入院	加算	0	0	0
		非加算	0	0	0
	外来	加算	0	0	0
		非加算	14	0	4
N S T			371	371	349
合計			10,321	11,672	15,028
月平均			860	973	1,252

食数

		2015年度	2016年度	2017年度
総食数	件数	342,238	339,426	343,779
	月平均	28,520	28,286	28,648
特別食	件数	114,210	110,681	119,995
	月平均	9,518	9,223	10,000
自費食	件数	7,692	8,499	7,700
	月平均	641	708	642

疾病別・診療科別患者数(大分類)

CD	国際分類大項目分類		外科	眼科	産婦人	耳鼻科	小児科	心外科	整形外科	内科	脳外科	泌尿器	皮膚科	合計	
I	感染症及び寄生虫症	計	22		2	33	138		1	221			46	463	
		男	13			19	73			115			14	234	
		女	9		2	14	65		1	106			32	229	
II	新生物	計	554		150	22	1	1	9	675	12	204	7	1,635	
		男	338			16		1		411	2	182	5	955	
		女	216		150	6	1		9	264	10	22	2	680	
III	血液及び血管系の疾患並びに免疫機構の障害	計	9		2		5			98				114	
		男	4				4			43				51	
		女	5		2		1			55				63	
I V	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	8	5			21			260		1	1	296	
		男	3	4			10			123		1	1	142	
		女	5	1			11			137				154	
V	精神及び行動の障害	計	1		10		9			12				32	
		男					6			3				9	
		女	1		10		3			9				23	
V I	神経系の疾患	計	3			51	40	1	20	200	58			373	
		男	1			34	26	1	9	96	30			197	
		女	2			17	14		11	104	28			176	
V II	眼及び付属器の疾患	計	9	718						4				731	
		男	3	264						4				271	
		女	6	454										460	
V III	耳及び乳様突起の疾患	計			1	209	6			14				230	
		男				82	3			2				87	
		女			1	127	3			12				143	
I X	循環器系の疾患	計	25				6	53	1	1,654	92			1,831	
		男	14				2	35	1	1,005	56			1,113	
		女	11				4	18		649	36			718	
X	呼吸器系の疾患	計	14			312	512	1		983	1			1,823	
		男	8			205	296	1		525	1			1,036	
		女	6			107	216			458				787	
X I	消化器系の疾患	計	655		1	8	17			756				1,437	
		男	412			1	7			434				854	
		女	243		1	7	10			322				583	
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	計	3		1	4	18		4	42	1		72	145	
		男	3			3	11		2	23			40	82	
		女			1	1	7		2	19	1		32	63	
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	5			1	42		185	116			1	350	
		男	1				23		56	36			1	117	
		女	4			1	19		129	80				233	
X I V	泌尿生殖器系の疾患	計	10		95	8	43			474		197		827	
		男	6			4	28			220		161		419	
		女	4		95	4	15			254		36		408	
X V	妊娠、分娩及び産後<<褥>>	計			666									666	
		男													
		女			666										666
X V I	周産期に発生した病態	計				88								88	
		男					46							46	
		女					42							42	
X V II	先天奇形、変形及び染色体異常	計	2		3	5	10			10		1		31	
		男				2	4			6		1		13	
		女	2		3	3	6			4				18	
X V III	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	11		1	46	65		2	221	2	3	1	352	
		男	6			15	29		1	112	2	1	1	167	
		女	5		1	31	36		1	109		2		185	
X I X	損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	19		2	14	291			705	140	64	1	1,236	
		男	10			12	187			240	78	31	1	559	
		女	9		2	2	104			465	62	33		677	
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因および保険サービスの利用	計	4			1		9		24				38	
		男	3					7		14				24	
		女	1			1		2		10				14	
総計		計	1,354	723	934	714	1,312	65	927	5,904	230	406	129	12,698	
		男	825	268	0	393	755	45	309	3,250	122	346	63	6,376	
		女	529	455	934	321	557	20	618	2,654	108	60	66	6,322	

疾病別・年齢別患者数(大分類)

CD	国際分類大項目分類	0-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100-104歳	105歳-	合計	平均		
I	感染症及び寄生虫症	計	80	48	10	8	27	20	10	7	17	10	6	8	15	18	19	41	41	41	21	14	2		463	46	
		男	37	32	4	3	11	10	4	4	13	9	1	4	12	12	11	22	15	22	5	2	1		234	44	
		女	43	16	6	5	16	10	6	3	4	1	5	4	3	6	8	19	26	19	16	12	1		229	48	
II	新生物	計	1			1	7	14	23	28	46	56	66	121	207	172	311	298	158	60	8	2		1,635	71		
		男						1	1	3	7	10	17	19	42	86	150	123	166	87	27	3	1		955	73	
		女	1			1	7	13	20	21	36	37	24	35	57	49	98	132	71	33	5	1		680	68		
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	1	2	2	1		2	1	3	1	3	1	4	4	13	6	20	17	11	16	6		114	72		
		男		2	2			1	1	2	1	1		4	3	12	2	9	4	4	3			51	64		
		女	1			1		1		1		2	1		1	1	4	11	13	7	13	6		63	79		
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	10	9	2			4	5	4	9	17	16	7	17	27	18	35	50	46	11	9			296	67	
		男	5	4	1				4	4	6	9	13	5	8	15	9	13	22	18	4	2			142	64	
		女	5	5	1			4	1		3	8	3	2	9	12	9	22	28	28	7	7			154	70	
V	精神及び行動の障害	計	1	6	2			1		5	7	3		1	1	1		2	1		1				32	38	
		男	1	4	1						1		1													9	22
		女		2	1					4	7	2		1	1			2	1		1					23	44
VI	神経系の疾患	計	14	28	9	4	6	10	10	12	4	18	21	16	16	31	28	47	50	35	11	3			373	58	
		男	8	19	6	1	3	7	5	9	3	8	10	10	11	16	10	22	25	17	4	3			197	55	
		女	6	9	3	3	3	3	5	3	1	10	11	6	5	15	18	25	25	18	7					176	61
VII	眼及び付属器の疾患	計					1			3	4	4	8	19	29	83	89	198	185	87	19		2		731	76	
		男					1			1	2	3	4	10	18	43	24	64	71	25	5				271	74	
		女								2	2	1	4	9	11	40	65	134	114	62	14		2		460	77	
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	10	3	1	4	6	8	10	9	11	9	7	14	15	28	10	44	28	8	5				230	59	
		男	5	2	1	2	4	4	7	5	4	4	2	1	8	10	4	11	8	4	1				87	52	
		女	5	1		2	2	4	3	4	7	5	5	13	7	18	6	33	20	4	4				143	62	
IX	循環器系の疾患	計	3	1	2		2	2	10	19	20	51	71	92	98	198	169	313	318	249	150	52	10	1	1,831	74	
		男	2				2	2	5	11	16	44	63	70	79	150	123	211	191	100	33	8	3		1,113	71	
		女	1	1	2				5	8	4	7	8	22	19	48	46	102	127	149	117	44	7	1	718	80	
X	呼吸器系の疾患	計	441	89	20	12	68	65	47	32	33	31	25	26	32	63	51	158	188	223	151	58	8	2	1,823	50	
		男	262	45	12	7	42	35	29	21	24	23	19	17	26	40	33	89	116	111	64	18	3		1,036	47	
		女	179	44	8	5	26	30	18	11	9	8	6	9	6	23	18	69	72	112	87	40	5	2	787	53	
XI	消化器系の疾患	計	14	8	16	12	26	33	35	50	73	61	89	94	121	90	172	247	174	64	37				1,437	67	
		男	7	4	9	9	14	18	20	22	37	45	41	69	63	87	61	114	131	70	27	6			854	64	
		女	7	4	7	3	7	8	13	13	28	20	20	31	34	29	58	116	104	37	31				583	71	
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計	16	2		3	6	4	3	3	5	3	7	2	7	6	8	16	17	17	13	5	2		145	60	
		男	9	2		2	1	1	3	2	4	2	7	1	4	5	6	7	9	9	5	2	1		82	58	
		女	7			1	5	3		1	1	1		1	3	1	2	9	8	8	8	3	1		63	63	
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	39	4	2		2	2	3	6	3	7	10	19	23	20	11	48	60	49	22	20			350	65	
		男	21	3	1		1	1	2	3	1	6	3	9	13	8	2	8	15	14	3	3			117	55	
		女	18	1	1		1	1	1	3	2	1	7	10	10	12	9	40	45	35	19	17			233	71	
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計	40	2	2	3	17	19	38	28	34	43	29	42	36	73	54	89	95	98	67	18			827	64	
		男	25	2	1	1	2	1	12	8	10	15	19	30	27	54	35	49	55	44	24	5			419	65	
		女	15		1	2	15	18	26	20	24	28	10	12	9	19	19	40	40	54	43	13			408	62	
XV	妊娠、分娩及び産じょく<褥>	計				5	34	145	240	185	57														666	32	
		男																									
		女				5	34	145	240	185	57															666	32
XVI	周産期に発生した病態	計	88																						88	0	
		男	46																							46	0
		女	42																							42	0
XVII	先天奇形、変形及び染色体異常	計	10	2	1	1	1		5				2	4	2	1			1	1					31	32	
		男	3	1	1	1								1	4				1	1					13	40	
		女	7	1			1		5				1		2	1									18	26	
XVIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	50	10	5	1	1	1	3	5	6	10	3	13	11	26	16	48	56	50	25	12			352	62	
		男	22	4	3		1	1	1	4	3	7	2	8	7	10	7	28	24	22	7	6			167	61	
		女	28	6	2	1			2	1	3	3	1	5	4	16	9	20	32	28	18	6			185	63	
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	217	79	32	15	21	23	25	33	38	29	26	38	40	69	49	88	125	149	99	35	5	1	1,236	52	
		男	135	57	20	8	13	11	18	22	25	20	13	20	21	33	24	32	35	33	17	1	1		559	39	
		女	82	22	12	7	8	12	7	11	13	9	13	18	19	36	25	56	90	116	82	34	4	1	677	63	
XX	健康状態に影響を及ぼす要因および保険サービスの利用	計											3	1	2	4	6	13	5	1	1	1	1	1	38	79	
		男												2	1	2	3	5	7	3					24	77	
		女												1		1	1	6	2	1	1	1	1	1	14	83	
総計		計	1,035	293	106	70	220	346	466	417	345	367	347	461	564	988	795	1,636	1,789	1,401	737	278	32	5	12,698	61	
		男	588	181	62	34	95	93	114	126	159	214	216	303	391	648	477	897	894	584	230	59	11	0	6,376	60	
		女	447	112	44	36	125	253	352	291	186	153	131	1													

疾病別・在院日数別患者数(大分類)

CD	国際分類大項目分類		1-8日	9-15日	16-22日	23-31日	32-61日	62-91日	3ヶ月-6ヶ月	6ヶ月-1年	1-2年	2年-	合計
I	感染症および寄生虫	男							1				1
		女											0
		計							1				1
II	新生物(悪性新生物)	男							1				1
		女											0
		計							1				1
III	血液および造血管の疾患 ならびに免疫機構の障害	男											0
		女											0
		計											0
IV	内分泌、栄養および代謝疾患	男							1				1
		女											0
		計							1				1
V	精神および行動の障害	男											0
		女											0
		計											0
VI	神経系の疾患	男					1		1				2
		女				1		4	2				7
		計				1	1	4	3				9
VII	眼および付属器の疾患	男											0
		女											0
		計											0
VIII	耳および乳様突起の疾患	男											0
		女											0
		計											0
IX	循環器系の疾患	男	2	5	3	9	28	18	55	6			126
		女	2	3	1	9	23	24	48	3			113
		計	4	8	4	18	51	42	103	9			239
X	呼吸器系の疾患	男											0
		女											0
		計											0
X I	消化器系の疾患	男											0
		女											0
		計											0
X II	皮膚および皮下組織の疾患	男											0
		女											0
		計											0
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	男	2	2	3	7	13	18	5	1			51
		女	3	1	1	5	16	24	8	1			59
		計	5	3	4	12	29	42	13	2			110
X IV	尿路器系の疾患	男											0
		女											0
		計											0
X V	妊娠、分娩および産褥	男											0
		女											0
		計											0
X VI	周産期に発生した病態	男											0
		女											0
		計											0
X VII	先天奇形、変形および染色体異常	男											0
		女											0
		計											0
X VIII	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男											0
		女											0
		計											0
X IX	損傷、中毒およびその他の外因の影響	男	1	1	2	2	18	40	5				69
		女	2	3	8	9	70	92	12				196
		計	3	4	10	11	88	132	17	0			265
X X I	健康状態に影響を及ぼす要因および保健サービスの利用	男											0
		女											0
		計											0
総計		男	5	8	8	18	60	76	69	7	0	0	251
		女	7	7	10	24	109	144	70	4	0	0	375
		計	12	15	18	42	169	220	139	11	0	0	626

シーダ・ウォーク利用者数の推移

	2015年度	2016年度	2017年度
ロングステイ	35,271	37,612	34,966
ショートステイ	4,552	5,876	5,004
ステイ 計	39,823	43,488	39,970
1日平均	108.8	119.1	109.5
前年比	102.1%	109.2%	91.9%
稼働日数	366日	365日	365日
デイケア	11,328	13,065	12,489
1日平均	38.4	44.4	41.2
前年比	106.2%	115.3%	95.6%
稼働日数	295日	294日	303日

稼働率	ロングステイ	99.3%	106.2%	94.7%
	ショートステイ	82.9%	107.3%	96.8%
ステイ計	97.1%	106.4%	95.0%	
平均介護度	ロングステイ	3.2	3.4	3.0
	ショートステイ	3.1	3.4	3.0
	デイケア	2.4	2.5	2.2
平均日数利用	ロングステイ	220.8日	239.3日	254.5日
	ショートステイ	7.3日	7.5日	7.5日
	ステイ計	139.9日	150.4日	165.3日

河北透析クリニック 受診者数の推移

	2015年度	2016年度	2017年度
受診者数	26,816	26,834	26,265
月平均	2,235	2,236	2,189
1日平均	85.4	85.7	83.9
前年比	102.6%	100.1%	97.9%
診療日数	314日	313日	313日

河北健診クリニック 受診者数の推移

	2015年度	2016年度	2017年度	
一泊ドック	受診者延数	189	144	108
	1日平均患者数	0.6	0.5	0.4
	前年比	76.8%	76.2%	75.0%
半日ドック	受診者延数	10,871	11,001	11,033
	1日平均患者数	36.9	36.5	36.9
	前年比	101.5%	100.2%	100.3%
成人・その他	受診者延数	18,450	18,843	19,059
	1日平均患者数	62.5	62.6	63.7
	前年比	105.9%	102.1%	101.1%
再検・精検	受診者延数	1,268	1,149	828
	1日平均患者数	4.3	3.8	2.8
	前年比	98.1%	90.6%	72.1%
総受診者数 (高年者健診含む)	受診者延数	30,778	31,137	31,028
	1日平均患者数	104.3	103.4	103.8
	前年比	103.7%	101.2%	99.6%
診療日数	295日	301日	299日	

河北家庭医療学センター 利用実績

			2015年度	2016年度	2017年度
家庭医療科 診療部門	訪問診療	利用者数	1,594	1,791	1,658
		訪問回数	3,391	3,608	3,446
	外来診療	外来患者延数	46,521	49,202	48,903
		利用者数	2,824	2,497	2,735
看護・リハビリ 部門	河北訪問看護・ リハビリテーション阿佐谷	訪問回数 [*]	25,750	21,815	25,814

* 河北サテライトクリニックからの訪問数を含む

地域包括支援センター利用実績

		2015年度	2016年度	2017年度
ケア24阿佐谷	新予防給付請求件数	2,950	2,835	2,827
	介護予防プラン請求件数	17	8	-
	認定調査・その他	174	67	79
ケア24松ノ木	新予防給付請求件数	2,804	2,705	2,846
	介護予防プラン請求件数	14	0	-
	認定調査・その他	51	53	50
実態把握件数		838	787	691

心のケアセンター

		2016年度	2017年度
河北総合病院	自費カウンセリング	421	594
	心理査定	326	407
	コンサルテーション(病棟介入含む)	382	582
河北リハビリテーション病院	個別介入(家族介入含む)	298	320
	コンサルテーション(ラウンド含む)	499	504
	集団療法	149	558
シーダ・ウォーク	個別介入(家族介入含む)	227	245
	コンサルテーション(ラウンド含む)	218	195
	集団療法	413	532

歯科受診者数【医療法人社団 利光会 訪問歯科診療部】

	2015年度	2016年度	2017年度	
河北総合病院	60	47	49	
河北リハビリテーション病院	1,159	707	872	
シーダ・ウォーク	1,236	871	1,226	
河北前田病院	1,051	761	911	
合計	延人数	3,506	2,386	3,058
	月平均	292.2	198.8	254.8

統計 | 多摩事業部

施設別稼働状況

※実人数

		2015年度	2016年度	2017年度	
入院・入所	天本病院	2階	11,765	12,609	14,760
		3階	14,566	15,201	16,380
		4階	18,426	18,493	17,246
		5階	12,232	12,607	12,444
		全入院数	56,989	58,910	60,830
	あい老健	入所(合計)	49,541	47,226	48,719
		短期(合計)	3,098	3,457	3,287
		単月在宅復帰率	50.7%	60.0%	63.8%
	6ヶ月平均在宅復帰率		46.2%	56.2%	64.7%
	GH	どんぐり	6,541	6,255	6,476
天の川		6,465	6,507	6,531	

※実人数

		2015年度	2016年度	2017年度	
外来	天本病院	保険診療	13,474	13,959	11,230
		健診等	3,145	3,164	2,597
	CL	保険診療	22,976	22,929	23,104
		健診等	1,340	1,476	1,461
	CL中沢	保険診療	6,673	6,769	6,842
		健診等	149	199	155
	CL平尾	保険診療			583
		健診等			

※実人数

		2015年度	2016年度	2017年度	
訪問診療	CL	在宅	2,100	2,233	2,476
		施設	3,717	4,000	3,554
	CL平尾	在宅	1,334	1,109	849
		施設	1,209	1,038	1,472
	CL中沢	在宅	584	710	911
		施設	871	1,058	1,181

※実人数

		2015年度	2016年度	2017年度	
居宅介護支援事業所	貝取	ケアプラン	5,123	4,999	4,998
		認定調査	672	775	764
	平尾	ケアプラン	420	163	0
		認定調査	5	4	0

※延件数

		2015年度	2016年度	2017年度	
包括	中部	ケアプラン	1,686	1,986	2,337

※延件数

		2015年度	2016年度	2017年度	
訪問看護ステーション	貝取	医療保険	4,343	4,031	3,991
		介護保険	15,272	16,984	13,414
		合計	19,615	20,756	17,397
	中沢	医療保険	1,240	1,670	1,484
		介護保険	4,705	4,316	4,153
		合計	5,945	5,884	5,631
	せいせき	医療保険		131	723
		介護保険		350	2,143
		合計		481	2,866
	平尾	医療保険	2,529	1,739	1,671
介護保険		6,451	5,069	4,659	
自費		87	62	53	
合計		9,067	6,870	6,368	

		2015年度	2016年度	2017年度	
通所	天本病院	介護予防(要支援実人数)	644	633	664
		介護予防(要介護延件数)	1,469	1,840	2,265
	老健	要支援実人数	1,277	754	579
		要介護延件数	10,393	10,799	10,849
	CL貝取	要支援実人数	184	195	1,070
		要介護延件数	8,245	6,972	7,413
	桜丘サロンのさくら	利用者延件数	3,188	1,726	1,333
		要支援実人数		6	247
		要介護延件数		78	2,308
		自費		0	0

		2015年度	2016年度	2017年度	
小規模多機能施設	かりん	登録者数	282	332	328
		通い	6,429	7,065	5,767
		訪問	3,983	8,061	6,989
		宿泊	2,100	2,078	1,877
	ほたる	登録者数	255	322	336
		通い	4,789	5,919	6,501
		訪問	3,435	3,217	3,161
		宿泊	860	944	1,127
	おきな	登録者数		18	179
		通い		187	2,619
		訪問		276	5,695
		宿泊		18	134

統計 | 財務(収益)

単位:千円

	2015年度	2016年度	2017年度
杉並事業部	18,535,054	18,240,243	18,685,764
前年比	107.0%	98.4%	102.4%
多摩事業部		1,489,056	4,648,156
前年比		-	-
合計 収入	18,535,054	19,729,299	23,333,920
前年比	107.0%	106.4%	118.3%

2016年12月に医療法人財団天翁会と合併のため
多摩事業部は、2016年12月～2017年3月の医業収入

河北総合病院・分院・河北サテライトクリニック

	2015年度	2016年度	2017年度
入院収入	8,737,613	8,644,303	8,834,374
前年比(%)	108.8%	98.9%	102.2%
外来収入	4,169,743	4,353,468	4,392,874
前年比(%)	112.3%	104.4%	100.9%

河北リハビリテーション病院

	2015年度	2016年度	2017年度
入院収入	1,956,848	1,958,443	2,163,788
前年比(%)	103.9%	100.1%	110.5%
外来収入	9,941	8,791	12,106
前年比(%)	54.9%	88.4%	137.7%

介護老人保健施設シーダ・ウォーク

	2015年度	2016年度	2017年度
収入	845,692	845,000	850,616
前年比(%)	102.9%	99.9%	100.7%

河北透析クリニック

	2015年度	2016年度	2017年度
収入	748,814	751,263	774,387
前年比(%)	101.3%	100.3%	103.1%

河北健診クリニック

	2015年度	2016年度	2017年度
収入	1,059,668	1,059,080	1,059,241
前年比(%)	107.8%	99.9%	100.0%

河北家庭医療学センター

	2015年度	2016年度	2017年度
収入	654,825	638,030	630,978
前年比(%)	104.0%	97.4%	98.9%

天本病院

	2016年度	2017年度
収入	644,379	1,944,508
前年比(%)	-	301.8%

あい介護老人保健施設

	2016年度	2017年度
収入	315,829	966,711
前年比(%)	-	306.1%

在宅医療部

	2016年度	2017年度
収入	386,579	1,235,837
前年比(%)	-	319.7%

地域包括ケア部

	2016年度	2017年度
収入	149,726	525,260
前年比(%)	-	350.8%

施設認定

河北総合病院 学会施設認定等（2018年4月1日現在）

- ◇臨床研修病院(厚生労働省指定)
- ◇外国医師臨床修練指定病院(厚生省指定)
- ◇日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ◇日本内科学会認定医制度教育病院
- ◇日本脳卒中学会研修教育病院
- ◇日本神経学会専門医制度准教育施設
- ◇日本呼吸器学会認定施設
- ◇日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ◇日本心血管インターベンション治療学会研修施設
- ◇日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ◇日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- ◇日本大腸肛門病学会関連施設
- ◇日本肝臓学会認定施設
- ◇日本腎臓学会研修施設
- ◇日本透析医学会認定施設
- ◇日本リウマチ学会認定教育施設
- ◇日本外科学会外科専門医修練施設
- ◇日本小児科学会認定医制度研修施設
- ◇日本消化器外科学会認定専門医修練施設
- ◇日本食道学会全国登録認定施設(消化器・一般外科)
- ◇日本整形外科学会認定医制度研修施設
- ◇日本産科婦人科学会専攻医指導施設
- ◇日本産科婦人科学会婦人科腫瘍登録施設
- ◇日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ◇日本眼科学会専門医制度研修施設
- ◇日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ◇日本アレルギー学会教育施設
- ◇日本在宅医学会認定研修施設
- ◇日本緩和医療学会認定研修施設
- ◇日本プライマリ・ケア連合学会認定後期研修プログラム実施施設
- ◇日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ◇日本病理学会認定病院
- ◇日本臨床細胞学会認定施設
- ◇日本栄養士会管理栄養士初任者臨床研修指定
- ◇救急救命士病院実習教育施設
- ◇日本救急医学会認定救急科専門医指定施設
- ◇日本産科婦人科学会認定研修施設
- ◇日本糖尿病学会認定教育施設
- ◇日本病態栄養学会認定栄養管理・NST実施施設
- ◇日本気管食道学会研修施設
- ◇日本周産期・新生児医学会認定施設

施設基準届出等（2018年4月1日現在）

河北総合病院

- 【施設認定】**
- ◇基幹型臨床研修病院
 - ◇地域医療支援病院
 - ◇救急告示病院(救急病院等を定める省令第2条)
 - ◇東京都指定二次救急医療機関
 - ◇DPC対象病院
 - ◇東京都CCUネットワーク加盟
 - ◇東京都脳卒中急性期医療機関
 - ◇東京都がん診療連携協力病院(大腸がん)
 - ◆指定居宅介護支援事業者
 - ◆指定居宅サービス(訪問看護)
 - ◆東京都神経難病医療ネットワーク協力病院指定
 - ◆東京都医療機器安全性情報ネットワーク事業参画医療機関
- 【基本診療料に関する届出事項】**
- ◇一般病棟入院基本料(急性期一般入院料1)
 - ◇総合入院体制加算3
 - ◇超急性期脳卒中加算
 - ◇診療録管理体制加算1
 - ◇医師事務作業補助体制加算1(15:1)
 - ◇急性期看護補助体制加算1(25:1)
 - ◇夜間100:1急性期看護補助体制加算
 - ◇夜間看護体制加算
 - ◇看護職員夜間12:1配置加算1-イ
 - ◇栄養サポートチーム加算
 - ◇医療安全対策加算1(医療安全対策連携加算)
 - ◇感染防止対策加算1(感染防止対策地域連携加算、抗菌薬適正使用支援加算)
 - ◇患者サポート体制充実加算
 - ◇褥瘡ハイリスク患者ケア加算
 - ◇ハイリスク妊娠管理加算
 - ◇ハイリスク分娩管理加算
 - ◇総合評価加算
 - ◇後発医薬品使用体制加算1
 - ◇病棟薬剤業務実施加算1
 - ◇病棟薬剤業務実施加算2
 - ◇データ提出加算2
 - ◇入退院支援加算1(地域連携診療計画加算)
 - ◇認知症ケア加算1
 - ◇特定集中治療室管理料3
 - ◇ハイケアユニット入院医療管理料1
 - ◇小児入院医療管理料2
- 【特掲診療料に関する届出事項】**
- ◇がん性疼痛緩和指導管理料
 - ◇地域連携小児夜間・休日診療料2
 - ◇乳腺炎重症化予防ケア・指導料
 - ◇院内トリアージ実施料
 - ◇救急搬送看護体制加算
 - ◇外来リハビリテーション診療料
 - ◇がん治療連携計画策定料
 - ◇薬剤管理指導料
 - ◇医療機器安全管理料1
 - ◇HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)
 - ◇検体検査管理加算(IV)
 - ◇心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
 - ◇挿入型心電図検査
 - ◇神経学的検査
 - ◇小児食物アレルギー負荷検査
 - ◇画像診断管理加算1
 - ◇画像診断管理加算2
 - ◇CT撮影及びMRI1撮影
 - ◇冠動脈CT撮影加算
 - ◇大腸CT撮影加算
 - ◇乳房MRI撮影加算
 - ◇小児鎮静下MRI撮影加算
 - ◇外来化学療法加算1
 - ◇無菌製剤処理料
 - ◇心大血管疾患リハビリテーション料(1)
 - ◇脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
- ◇運動器リハビリテーション料(1)
 - ◇呼吸器リハビリテーション料(1)
 - ◇がん患者リハビリテーション料
 - ◇処置の休日加算1、時間外加算1、及び深夜加算1
 - ◇脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
 - ◇乳がんセンチネルリンパ節加算2
 - ◇経皮的中心心筋焼灼術
 - ◇食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)
 - ◇内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術
 - ◇胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
 - ◇小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
 - ◇結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
 - ◇腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
 - ◇ベースメーカー移植術及びベースメーカー交換術
 - ◇植込型心電図検査記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
 - ◇大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
 - ◇腹腔鏡下肝切除術
 - ◇腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
 - ◇手術の休日加算1、時間外加算1、及び深夜加算1
 - ◇輸血管理料1
 - ◇人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
 - ◇麻酔管理料(1)
 - ◇病理診断管理加算1
- 【入院時食事療養に関する届出事項】**
- ◇回復期リハビリテーション病棟入院料2
- 【特掲診療料に関する届出事項】**
- ◇脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
 - ◇運動器リハビリテーション料(1)
 - ◇廃用症候群リハビリテーション料(1)
 - ◇薬剤管理指導料
- 【保険外併用療養費に関する事項】(選定療養)**
- ◇特別の療養環境の提供
 - ◇200床以上の病院初診料
 - ◇入院期間が180日を超える入院に関する費用
 - ◇予約に基づく診療(頭痛外来)
 - ◇時間外診療
- 【保険外併用療養費に関する事項】(評価療養)**
- ◇治療に係る治療

河北総合病院 分院

- 【施設認定】**
- ◇協力型臨床研修病院
- 【基本診療料に関する届出事項】**
- ◇一般病棟入院基本料(急性期一般入院料1)
 - ◇診療録管理体制加算1
 - ◇医師事務作業補助体制加算1(20:1)
 - ◇急性期看護補助体制加算1
 - ◇夜間100:1急性期看護補助体制加算
 - ◇夜間看護体制加算
 - ◇看護職員夜間12:1配置加算
 - ◇療養環境加算
 - ◇無菌治療室管理加算1
 - ◇医療安全対策加算2(医療安全対策連携加算)
 - ◇感染防止対策加算2
 - ◇総合評価加算
 - ◇後発医薬品使用体制加算3
 - ◇病棟薬剤業務実施加算1
 - ◇データ提出加算2
 - ◇入退院支援加算1
 - ◇認知症ケア加算2
- 【特掲診療料に関する届出事項】**
- ◇糖尿病合併症管理料
 - ◇がん性疼痛緩和指導管理料
 - ◇ニコチン依存症管理料
 - ◇薬剤管理指導料
 - ◇医療機器安全管理料1
 - ◇検体検査管理加算(II)
 - ◇時間内歩行試験
 - ◇画像診断管理加算1
 - ◇画像診断管理加算2
- 【脳血管疾患等リハビリテーション料(II)**
- ◇呼吸器リハビリテーション料(1)
 - ◇がん患者リハビリテーション料
 - ◇人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)
 - ◇導入期加算1
- 【入院時食事療養に関する届出事項】**
- ◇入院時食事療養(1)(食堂加算)
- 【保険外併用療養費に関する事項】(選定療養)**
- ◇特別の療養環境の提供
 - ◇入院期間が180日を超える入院に関する費用

河北 サテライト クリニック

- 【基本診療料に関する届出事項】**
- ◇時間外対応加算2
- 【特掲診療料に関する届出事項】**
- ◇がん性疼痛緩和指導管理料
 - ◇ニコチン依存症管理料
 - ◇在宅療養支援診療所
 - ◇在宅時医学総合管理料及び特定施設入居時等医学総合管理料
 - ◇在宅がん医療総合診療料
 - ◇在宅緩和ケア充実診療所・病院加算

介護老人保健施設 シーダ・ウォーク

- 【介護老人保健施設(ロングステイ)として】**
- ◇ユニット型介護保健施設サービス費(1)(ii) <ユニット型個室>【在宅強化型】
 - ◇在宅復帰在宅療養支援加算
 - ◇夜勤職員配置加算
 - ◇短期集中リハ加算
 - ◇認知症短期集中リハ加算
 - ◇栄養マネジメント加算
 - ◇療養食加算
 - ◇ターミナルケア加算
 - ◇サービス提供体制加算11
 - ◇処遇改善加算1
- 【短期入所療養介護、介護予防短期入所療養介護(ショートステイ)として】**
- ◇ユニット型介護老人保健施設(介護予防)短期入所療養介護費(1)(ii) <ユニット型個室>【在宅強化型】
 - ◇在宅復帰在宅療養支援加算
 - ◇夜勤職員配置加算
 - ◇個別リハビリ加算
 - ◇療養食加算
 - ◇送迎加算
 - ◇サービス提供体制加算11
 - ◇処遇改善加算1
- 【通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション(デイケア)として】**
- ◇大規模型通所リハビリテーション費(II)・介護予防通所リハビリテーション費
 - ◇リハ提供体制加算
 - ◇リハマネジメント加算
 - ◇中重度者ケア体制加算
 - ◇社会参加支援加算
 - ◇短期集中個別リハ加算
 - ◇認知症短期集中リハ加算
 - ◇生活行為向上リハ加算
 - ◇重度療養管理加算
 - ◇栄養改善加算
 - ◇口腔機能向上加算
 - ◇入浴介助加算
 - ◇運動器機能向上加算(予防通所リハ)
 - ◇事業所評価加算(予防通所リハ)
 - ◇サービス提供体制加算11
 - ◇処遇改善加算1
- 【訪問リハビリテーション、介護予防訪問リハビリテーションとして】**
- ◇訪問リハビリテーション費
 - ◇リハマネジメント加算
 - ◇短期集中リハ加算
 - ◇サービス提供体制加算1

河北リハビリテーション病院

- 【施設認定】**
- ◇協力型臨床研修病院
- 【特定入院料に関する届出事項】**
- ◇回復期リハビリテーション病棟入院料2
- 【特掲診療料に関する届出事項】**
- ◇脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
 - ◇運動器リハビリテーション料(1)
 - ◇患者サポート体制充実加算
- 【入院時食事療養に関する届出事項】**
- ◇入院時食事療養(1)(食堂加算)

河北健診クリニック (河北総合病院健診センター)

- 【施設認定】**
- ◇(社)日本病院会・日本人間ドック学会優良人間ドック(2日ドック)実施指定施設
 - ◇日本総合健診医学会認定優良総合健診施設
 - ◇(社)全日本病院協会日帰り人間ドック実施指定施設
 - ◇健康評価施設査定機構認定人間ドック・総合健診施設
 - ◇健康評価施設査定機構認定特定健診・特定保健指導施設
 - ◇マンモグラフィ検診精度管理中央委員会 マンモグラフィ検診画像認定施設
 - ◇日本人間ドック学会・日本総合健診医学会 人間ドック健診専門医研修施設
- 【基本診療料に関する届出事項】**
- ◇明細書発行体制等加算

河北透析クリニック (透析センター)

- 【基本診療料に関する届出事項】**
- ◇時間外対応加算2
- 【特掲診療料に関する届出事項】**
- ◇人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)
 - ◇透析液水質確保加算
 - ◇慢性維持透析濾過加算
 - ◇導入期加算1
 - ◇下肢末梢静脈疾患指導管理加算

あい介護老人保健施設

- 【介護老人保健施設(入所)として】**
- ◇施設等の区分・介護老人保健施設(1)
 - ◇人員配置区分・在宅強化型
 - ◇療養食加算
 - ◇夜勤職員配置加算
 - ◇認知症ケア加算
 - ◇ターミナルケア体制加算
 - ◇栄養マネジメント体制加算
 - ◇サービス提供体制強化加算(1)
 - ◇短期集中リハビリテーション加算
 - ◇認知症短期集中リハビリテーション加算
 - ◇経口維持加算1・II
 - ◇口腔衛生管理体制加算
 - ◇入所前後訪問指導加算1・II
 - ◇緊急時治療加算
 - ◇介護職処遇改善加算1
 - ◇排せつ支援加算
 - ◇褥瘡マネジメント加算
 - ◇短期入所療養介護、介護予防短期入所療養介護(ショートステイ)として
 - ◇施設等の区分・介護老人保健施設(1)
 - ◇人員配置区分・在宅強化型
 - ◇サービス提供体制加算1
 - ◇夜勤職員配置加算
 - ◇個別リハビリテーション実施加算
 - ◇認知症ケア加算
 - ◇療養食加算
 - ◇重症療養管理加算
 - ◇緊急短期入所受入加算
 - ◇介護職処遇改善加算1
 - ◇送迎加算
- 【通所リハビリテーション、介護予防通所リハビリテーション(デイケア)として】**
- ◇施設等の区分・大規模の事業所II
 - ◇入浴介助加算
 - ◇リハビリテーションマネジメント加算1・II
 - ◇短期集中個別リハビリテーション実施加算
 - ◇個別リハビリテーション実施加算
 - ◇認知症短期集中リハビリテーション実施加算
 - ◇生活行為向上リハビリテーション実施加算
 - ◇サービス提供体制加算1
 - ◇重度療養加算
 - ◇介護職員処遇改善加算1

天本病院

- 【基本診療料に関する届出事項】**
- ◇地域一般入院料3 15床
 - ◇看護配置加算
 - ◇看護補助加算
 - ◇診療録管理体制加算2
 - ◇療養環境加算
 - ◇医療安全対策加算2
 - ◇後発医薬品使用体制加算1
 - ◇療養病棟入院基本料
 - ◇回復期リハビリテーション病棟入院料2 48床
 - ◇体制強化加算
 - ◇地域包括ケア入院医療管理料2 30床
 - ◇特殊疾患病棟入院料1 50床
 - ◇特殊疾患病棟入院料2 36床
 - ◇データ提出加算1
 - ◇認知症ケア加算1
- 【特掲診療料に関する届出事項】**
- ◇薬剤管理指導料
 - ◇在宅療養支援病院
 - ◇在宅時医学総合管理料、特定施設入居時等医学総合管理料
 - ◇CT撮影及びMRI1撮影
 - ◇脳血管疾患等リハビリテーション料(1)
 - ◇廃用症候群リハビリテーション料(1)
 - ◇運動器リハビリテーション料(1)
 - ◇呼吸器リハビリテーション料(1)
 - ◇超重症児(者)入院診療加算・準超重症児(者)入院診療加算

あいクリニック

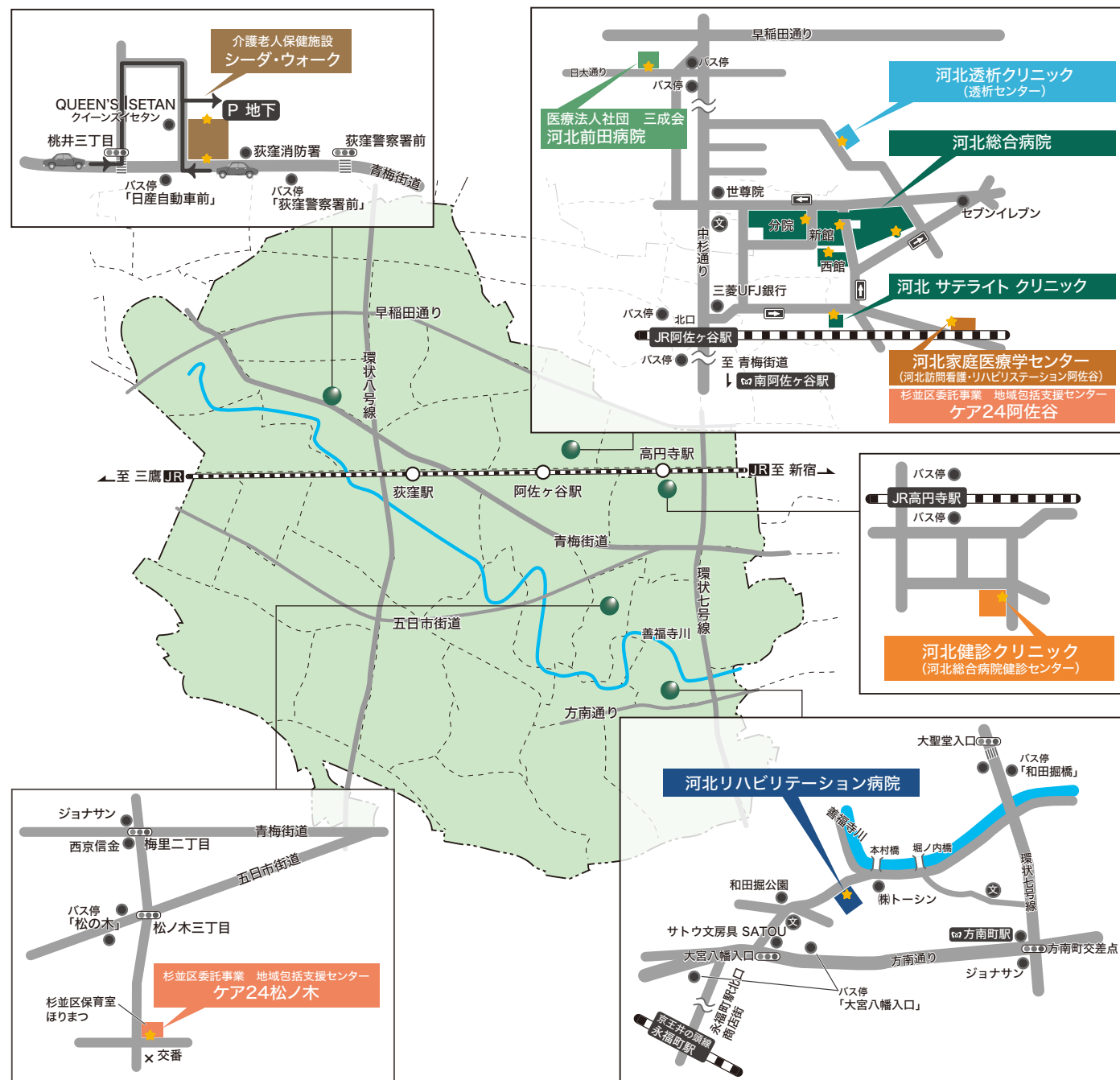
- 【基本診療料に関する届出事項】**
- ◇明細書発行体制等加算
 - ◇時間外対応加算1
 - ◇夜間・早朝加算
 - ◇機能強化加算
- 【特掲診療料に関する届出事項】**
- ◇機能強化型在宅療養支援診療所
 - ◇在宅緩和ケア充実診療所
 - ◇地域包括診療料1
 - ◇認知症地域包括診療料1
 - ◇ニコチン依存症管理料
 - ◇脳血管疾患等リハビリテーション料(III)
 - ◇運動器リハビリテーション料(III)
 - ◇在宅時医学総合管理料
 - ◇施設入居時等医学総合管理料
 - ◇包括的支援加算
 - ◇在宅がん医療総合診療料
 - ◇コンピューター断層撮影(CT撮影)

あいクリニック平尾

- 【基本診療料に関する届出事項】**
- ◇明細書発行体制等加算
 - ◇電子化加算
 - ◇機能強化加算
- 【特掲診療料に関する届出事項】**
- ◇在宅緩和ケア充実診療所
 - ◇在宅時医学総合管理料
 - ◇特定施設入居時等医学総合管理料

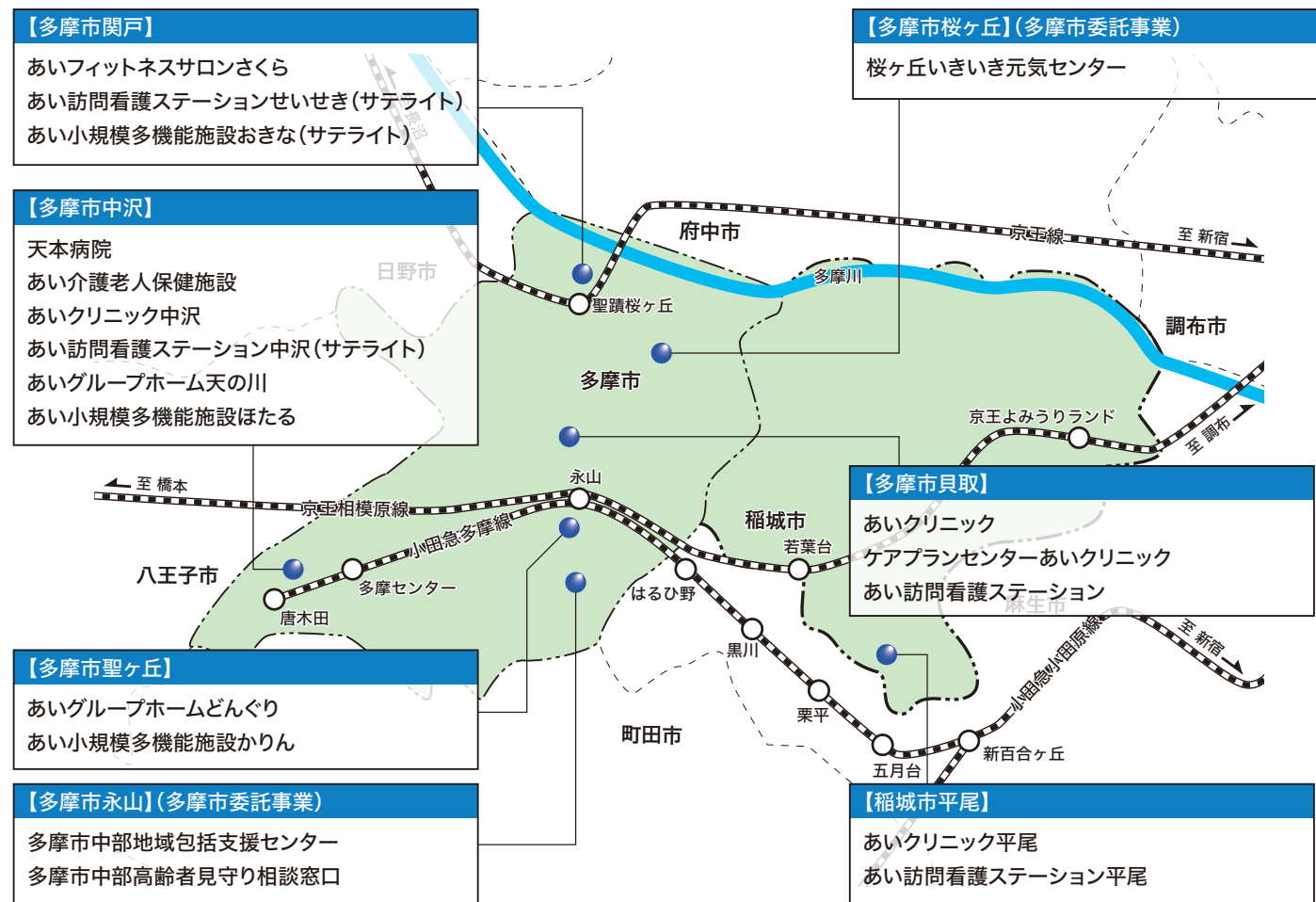
あいクリニック中沢

- 【基本診療料に関する届出事項】**
- ◇明細書発行体制等加算
- 【特掲診療料に関する届出事項】**
- ◇機能強化型在宅療養支援診療所
 - ◇在宅緩和ケア充実診療所
 - ◇コンピューター断層撮影(CT撮影)



河北総合病院	〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-7-3 TEL.03-3339-2121
河北総合病院 分院	〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-6-20 TEL.03-3339-0606
河北 サテライト クリニック	〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-3-12 TEL.03-3339-0808
河北リハビリテーション病院	〒166-0013 東京都杉並区堀ノ内1-9-27 TEL.03-5307-5151
介護老人保健施設 シーダ・ウォーク	〒166-0034 東京都杉並区桃井3-4-9 TEL.03-5311-6262
河北健診クリニック (河北総合病院健診センター)	〒166-0003 東京都杉並区高円寺4-27-12 三井住友銀行高円寺ビル5階(受付) TEL.03-5377-2511
河北透析クリニック (透析センター)	〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-18-9 TEL.03-3336-2500

河北家庭医療学センター (河北訪問看護・リハビリテーション阿佐谷)	〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-2-1 河北杉樹ビル1階 TEL.03-3339-3850(訪問診療) TEL.03-3339-8236(訪問看護・リハビリ)
【杉並区委託事業】	
地域包括支援センター ケア24阿佐谷	〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北1-2-1 河北杉樹ビル1階 TEL.03-3339-1588
地域包括支援センター ケア24松ノ木	〒166-0014 東京都杉並区松ノ木3-3-4 TEL.03-3318-8530
【提携施設】	
医療法人社団 三成会 河北前田病院	〒167-0031 東京都杉並区本天沼1-2-1 TEL.03-3330-0384



【多摩市中沢】	
①天本病院	〒206-0036 東京都多摩市中沢2-5-1 TEL.042-310-0333
②あい介護老人保健施設 せいせき(サテライト)	〒206-0036 東京都多摩市中沢1-17-38 TEL.042-374-7111
③あいクリニック中沢	〒206-0036 東京都多摩市中沢2-5-3 ゆいま〜る中沢A棟1階
④あい訪問看護ステーション 中沢(サテライト)	TEL.③042-311-2820 ④042-371-6888
⑤あいグループホーム天の川	〒206-0036 東京都多摩市中沢2-5-3 ゆいま〜る中沢B棟2階 TEL.042-311-0176
⑥あい小規模多機能施設 ほたる	〒206-0036 東京都多摩市中沢2-5-3 ゆいま〜る中沢B棟3階 TEL.042-357-1870
【多摩市聖ヶ丘】	
①あいグループホーム どんぐり	〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘2-21-2 ゆいま〜る聖ヶ丘C棟1階 TEL.042-357-3801
②あい小規模多機能施設 かりん	〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘2-20-6 ゆいま〜る聖ヶ丘B棟1階 TEL.042-357-4101
【多摩市永山】(多摩市委託事業)	
①多摩市中部地域 包括支援センター	〒206-0025 東京都多摩市永山4-2-5-105 TEL.①042-375-0017 ②042-357-8877
②多摩市中部高齢者 見守り相談窓口	

【多摩市関戸】	
①あいフィットネスサロン さくら	〒206-0011 東京都多摩市関戸1-2-11 スマイラス聖蹟桜ヶ丘1階
②あい訪問看護ステーション せいせき(サテライト)	TEL.①042-311-5445 ②042-371-6888
③あい小規模多機能施設 おきな(サテライト)	③042-311-5447
【多摩市桜ヶ丘】(多摩市委託事業)	
桜ヶ丘いきいき元気センター	〒206-0013 東京都多摩市桜ヶ丘2-1-1 TEL.042-311-7300
【多摩市貝取】	
①あいクリニック	〒206-0012 東京都多摩市貝取1431-3
②ケアプランセンター あいクリニック	あいに宅複合施設 TEL.①042-375-9581 ②042-375-9598
③あい訪問看護ステーション	③042-371-6888
【稲城市平尾】	
①あいクリニック平尾	〒206-0823 東京都稲城市平尾3-7-4
②あい訪問看護ステーション 平尾	コーシャハイム平尾1階 TEL.①042-350-5062 ②042-350-8615

学会発表 (2017年度)

<p>■所属／氏名／学会名／題目</p>	
<p>2017年 4月</p>	<p>■小児科／土屋 宏人／第120回日本小児科学会／川崎病急性期における 肝機能障害の検討</p> <p>■初期研修医小児科／塚本 淳也／第120回日本小児科学会／比較的徐脈を認め、細菌性腸炎類似症状を呈し、診断に苦慮した猫ひっかき病</p> <p>■小児科／勝盛 宏／第120回日本小児科学会／小児科発達外来通院中の母親の精神健康度の評価</p> <p>■循環器内科／登坂 淳／Slender Club Japan／Usage of Guideliner PV for complex EVT</p> <p>■整形外科／吉岡 太郎／第61回日本リウマチ学会総会学術集会／CR-TKAにおける異なる2種類のGap tensorを使用したImplant gapの比較</p> <p>■腎臓内科／岡井 隆広／第61回日本リウマチ学会総会学術集会／当センターにおける八十歳以上関節リウマチ患者に対するアバタセプト投与例の検討</p> <p>■呼吸器内科／角田 裕美／第57回日本呼吸器学会学術講演会／河北総合病院でのハイフローセラピーの実施状況について</p> <p>■リウマチ・膠原病科／菊地 英豪／第61回日本リウマチ学会総会学術集会／メトトレキサート非併用高齢関節リウマチ治療におけるアバタセプトの継続率に関する検討</p>
<p>5月</p>	<p>■消化器内科／五十嵐 裕章／第93回日本消化器内視鏡学会総会／EBD施行後遅発性に肝被膜下bilomaを形成した1例</p> <p>■家庭医療科／舛本 祥一／日本プライマリケア連合学会／プライマリ・ケア外来におけるPIMsと心理・精神的要因との関連性について</p> <p>■家庭医療科／一戸 由美子／日本プライマリケア連合学会／地域の医療者向けの在宅ケア普及活動</p> <p>■あいクリニック中沢／亀谷 学／日本プライマリケア連合学会／高齢者が現在の在宅療養及び介護サービスをどうとらえているか〜東京都多摩市民インタビューから〜</p> <p>■あいクリニック中沢／亀谷 学／日本プライマリケア連合学会／高齢者はどこで最期を迎えたいかについてどのように考えているか</p> <p>■あいクリニック中沢／亀谷 学／日本プライマリケア連合学会／地域診断とインタビューから見えてきた多摩市の在宅療養・介護のニーズ</p> <p>■糖尿病・内分泌代謝内科／岡田 光正／第60回日本糖尿病学会年次学術集会／当院におけるデュラグルチド使用経験</p> <p>■耳鼻咽喉科／篠原 宏／日本耳鼻咽喉科学会／マイコプラズマ感染後に発症したopsoclonus症例</p> <p>■腎臓内科／岡井 隆広／第60回日本腎臓学会学術総会／慢性腎臓病G4、G5におけるトルバプタンの治療効果の検討</p>
<p>6月</p>	<p>■小児科／勝盛 宏／第5回SECUREコース講習会／MRI検査時の鎮静に関する共同提言」実践コース「共同提言」の要点</p> <p>■初期研修医内科／安尾 俊祐／ACPJC2017年次総会／Doctor’s Dilemma</p> <p>■腎臓内科／岡井 隆広／第62回日本透析医学会学術集会総会／当院におけるAssisted PD〜訪問看護との連携</p> <p>■小児科／河原 智樹／第59回日本小児神経学会／急性期に失語を呈し予後良好であったけいれん重積型脳症(AESD)の1歳女児例</p> <p>■リウマチ・膠原病科／E. Kikuchi1,*、N. Aoki1、T. Yoshioka1、T. Okai1 /"ヨーロッパリウマチ学会 Annual European Congress of Rheumatology EULAR 2017"/The Retention Rates of Abatacept in Elderly Rheumatoid Arthritis Patients (65 years and above) Who Cannot be Treated with Methotrexate:Comparison with Etanercept and Tocilizumab</p> <p>■リウマチ・膠原病科／菊地 英豪 /"ヨーロッパリウマチ学会 Annual European Congress of Rheumatology EULAR 2017"/Possibility of bacterial infection prophylaxis of Trimethoprim-Sulfamethoxazole in elderly patients (以下略)</p> <p>■家庭医療科／一戸 由美子／日本在宅医学会／当センターの在宅療養患者の実態調査</p> <p>■あいクリニック貝取／濱谷 康弘／日本在宅医学会／当院における在宅・施設で看取ることのできなかった症例の検討</p> <p>■整形外科／吉岡 太郎／第9回日本関節鏡膝スポーツ整形外科学会／第9回日本関節鏡膝スポーツ整形外科学会</p> <p>■看護師／向原 愛恵／第22回日本緩和医療学会 学術大会／死を見つめた命の授業の効果</p> <p>■理学療法士／小口 佳奈／第22回日本緩和医療学会 学術大会／当院におけるがんリハビリテーションの現状と取り組み</p> <p>■理学療法士／根本 海渡／The WCPT-AWP & PTAT Congress 2017／The relationship between shoulder joint dislocation,fear and self-care in one Japanese university rugby players</p> <p>■眼科／竹宮 信子／7th world glaucoma congress／Evaluating retinal ganglion dell loss of ocular hypertensive mouse model</p>
<p>7月</p>	<p>■循環器内科／登坂 淳／Jresqure／重症下肢虚血症例検討会</p> <p>■循環器内科／佐藤 由里子／カテーテルアブレーション関連学会2017／心房細動アブレーション後に発生した難治性post cardiac injury syndropme</p> <p>■耳鼻咽喉科／吉田 沙絵子／第79回耳鼻咽喉科臨床学会総会／舌扁桃炎後、大量出血を来した1例</p> <p>■耳鼻咽喉科／篠原 宏／第79回耳鼻咽喉科臨床学会総会／手持ち型電気マッサージ器を用いたクブラ結石症治療</p> <p>■循環器内科／登坂 淳／CVIT2017／薬剤溶出性バルーンへの期待</p> <p>■循環器内科／石原 龍馬／CVIT2017／Impact of cardiology duty to shortening door to balloon time in patients with ST-T segment elevation myocardial infarction</p> <p>■外科／梅谷 直亨／第72回日本消化器外科学会総会／手術室オカレンスレポート提出システムと外科医の安全意識への効果</p> <p>■整形外科／田中 瑞栄／第35回日本骨代謝学会学術集会／乳がん術後AIによる続発性骨粗鬆症に対するビスホスホネートの治療効果と安全性</p> <p>■血液内科／浅妻 直樹／International Congress of Psychology 2017／Interdisciplenary study on client-doctor relationship at medical settings</p>
<p>8月</p>	<p>■看護師／石井 真央／第27回日本小児看護学会 学術集会／小児の点滴固定</p>
<p>9月</p>	<p>■耳鼻咽喉科／清水 啓成／第30回口腔頭頸科学会／石灰沈着性頸長筋腱炎の一例</p> <p>■理学療法士／寺口 佳織／日本整形外科スポーツ医学会／アキレス腱断裂術後における超音波画像診断装置による評価の有効性</p> <p>■整形外科／田中 瑞栄／第66回東日本整形災害外科学会／大腿骨近位部骨折治療後の退院経路から分析した骨粗鬆症治療と地域連携に関する問題点</p> <p>■消化器内科／五十嵐 裕章／European Society of Coloproctology／Colorectal cancer screening by immunochemical fecal occult blood test in Japan</p>

<p>10月</p>	<p>■家庭医療科／一戸 由美子／第41回 日本死の臨床研究会年次大会／研修医とスタッフ医師で在宅看取りに差があるか？</p> <p>■眼科／竹宮 信子／第71回日本臨床眼科学会／網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫に対する抗VEGF療法後早期の視機能の検討</p> <p>■循環器内科／登坂 淳／CVIT2017関東地方会／エコー・CTを用いた血管診療のとりくみ</p> <p>■循環器内科／宮部 彰／CVIT2017関東地方会／冠動脈穿孔</p> <p>■消化器内科／山下 浩子／JDDW 2017／当院における抗血栓薬ガイドライン導入前後における内視鏡的止血術を施行した消化性潰瘍例についての検討</p> <p>■外科／桜井 博仁／JDDW 2017／化学療法が著効し切除可能となった十二指腸癌の症例</p> <p>■外科／江原 悠／JDDW 2017／大腸癌肝転移に対しFOLFIRI+Bevacizumab投与後に高アンモニア血症を呈した症例</p> <p>■理学療法士／中井 康司／リハビリテーション・ケア合同研究大会／若年リハビリテーションスタッフに向けて行った、危険予知トレーニング(KYT)を通じた転倒インシデント予防の現状と課題</p> <p>■整形外科／田中 瑞栄／第19回日本骨粗鬆症学会／乳がん術後アロマトーゼ阻害薬による続発性骨粗鬆症に対するビスホスホネートの治療効果と安全性</p> <p>■小児科／河原 智樹／小児感染症学会／尿路感染症と診断したが発熱が持続し冠動脈瘤を形成し川崎病と診断した乳児例</p> <p>■整形外科／難波 孝徳／第44回日本股関節学会学術集会／超高齢者における大腿骨近位部骨折の治療成績</p> <p>■初期研修医内科／堀越 雄一郎／第45回日本救急医学会総会／僧房弁置換術後に発症した弁機能不全</p> <p>■救急部／金井 信恭／日本救急医学会総会／救急専門医のすすめ</p> <p>■初期研修医内科／鈴木 慎／第47回日本腎臓学会東部学術大会／抗GBM抗体型腎炎の経過中、血小板減少をきたし、TMAの合併と考えられた一例</p>
------------	--

<p>11月</p>	<p>■作業療法士／米谷 和音／認知神経リハビリテーション学会／／橈骨遠位端骨折術後、自身の手のイメージに変質をきたした症例</p> <p>■理学療法士／根本 海渡／第5回日本運動器徒手理学療法学会／歩行時に膝痛を呈した変形性膝関節症患者の股関節可動域制限に対して軟部組織モビライゼーションを施行し疼痛が軽減した一症例</p> <p>■循環器内科／登坂 淳／AHA 2017／Clinical impact or manual muscle test to predict early mortality in patients with critical limb ischemia</p> <p>■循環器内科／宮部 彰／AHA 2017／Prognosis of patients with critical limb ischemia due to below-the-knee artery lesion.</p> <p>■循環器内科／石原 龍馬／AHA 2017／Risk assesment to recommend best supportive care for CLI patients</p> <p>■循環器内科／長田 公祐／AHA 2017／Utility of activities of daily living to predict early moratality in patients with clitical limb ischemia</p> <p>■呼吸器内科／角田 裕美／日本呼吸ケアリハビリテーション学会各術集会／医療介護関連肺炎患者への退院支援の効果</p> <p>■理学療法士／高瀬 真理／日本呼吸ケアリハビリテーション学会各術集会／当院ICUにおけるABCDEバンドル導入後の早期リハビリテーションに対する意識変化〜アンケート調査を用いて〜</p> <p>■理学療法士／雨宮 知樹／日本呼吸ケアリハビリテーション学会各術集会／人工呼吸器装着後の長期入院患者が病態に合わせた介入により自宅復帰を果たした症例</p> <p>■麻酔科／吉田 千寿／産科麻酔学会／麻酔科医の無痛分娩体験</p> <p>■看護師／南 エリ／第27回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会／呼吸器疾患を抱える患者の退院後訪問指導を通して見えてきた課題</p> <p>■循環器内科／登坂 淳／日本臨床外科学会／広範囲ASDの治療法選択</p> <p>■小児科／勝盛 宏／第6回SECUREコース講習会／共同提言の趣旨・要点について</p>
------------	---

<p>12月</p>	<p>■初期研修医外科／青木 佑磨／第30回日本内視鏡外科学会総会／ヘルニア門の縫合閉鎖を加えた腹腔鏡下腹壁瘢痕ヘルニア修復術の一例</p> <p>■外科／田村 徳康／第30回日本内視鏡外科学会総会／腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術後メッシュ感染</p> <p>■外科／桜井 博仁／第30回日本内視鏡外科学会総会／当院で施行した逆蠕動性R-Y再建とデルタ再建の比較検討</p> <p>■腎臓内科／岡井 隆広、菊地 英豪、横田 弘、吉岡 太郎、町並 陸生／第28回日本リウマチ学会関東支部学術集会／混合性結合組織病の経過中、劇症型抗リン脂質抗体症候群を合併した一例</p> <p>■初期研修医内科／光榮 泰信／第28回日本リウマチ学会関東支部学術集会／くも膜下出血の術後経過中に難治性痙攣を発症、全身性エリテマトーデスの診断に至った一例</p> <p>■循環器内科／片野 皓介／第31回日本冠疾患学会学術集会／第一世代シロリムス溶出性ステント留置後における遅発性ステントフラクチャーの頻度と臨床的影響</p>
------------	--

<p>2018年 1月</p>	<p>■作業療法士／落合 克典、大澤 智恵子／第7回 厚生労働省ICFシンポジウム／チーム間連携情報共有シート(症例シート)の紹介と活用方法</p> <p>■救急部／金井 信恭／第68回救急医学会関東地方会／病院救急車積極活用による地域搬送支援システム</p>
---------------------	--

<p>2月</p>	<p>■作業療法士／落合 克典、大澤 智恵子／第31回 回復期リハビリテーション研究大会／情報共有シートと目標設定</p> <p>■家庭医療科／塩田 正喜／杉並区医師会学術研究発表会／糖尿病の急激な増悪後に黄疸を来した一例</p> <p>■家庭医療科／楢原 正基／杉並区医師会学術研究発表会／鍼治療後に突然の右手の腫脹・疼痛を来した一例</p> <p>■救急部／金井 信恭／第45回集中治療学会／カフ損傷を繰り返した一例</p> <p>■看護師／鈴木 奈穂子／第32回日本環境感染学会総会・学術総会／蓄尿率抑制および自動蓄尿装置撤廃に向けた取り組み〜その効果と意識・行動変容に関する調査〜</p>
-----------	--

<p>3月</p>	<p>■耳鼻咽喉科／篠原 宏、清水 啓成、吉田 沙絵子／第30回日本喉頭科学会総会／マスカハニーキャンディが原因と思われた喉頭浮腫の2症例</p> <p>■腎臓内科／鈴木 剛史、岡井 隆広、吉田 勢津子／第640回日本内科学会関東地方会／当院における糖尿病に合併した気腫性膀胱炎、気腫性腎盂腎炎の検討</p> <p>■外科／磯崎 祐希／第848回外科集談会／子宮内膜症による腸閉塞の一例</p> <p>■理学療法士／寺口 佳織／日本腎臓リハビリテーション学会／外来維持透析患者に対する自主トレーニングプログラムの導入〜理学療法士が勤務していない透析クリニックでの効果検討〜</p> <p>■循環器内科／石原 龍馬／第82回日本循環器学会学術集会／Risk assessment to recommend best supportive care in patients with critical limb ischemia</p> <p>■循環器内科／長田 公祐／第82回日本循環器学会学術集会／Utility of activities of daily living to predict early mortality in patients with clitical limb ischemia</p>
-----------	---

年間イベント2017

- 地域住民・患者さん向け勉強会・セミナー・主催イベント
- 地域医療・介護連携
- 財団の出来事 職員向けイベント
- 地域イベントへ参加・協賛

4月

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 杉並事業部
■河北健康教室
「ストレスと上手に付き合う方法」
■体力測定会
(河北リハビリテーション病院) | 多摩事業部
■認知症カフェ
「からぎだ匠カフェ」
(社会福祉法人学友会共催)
■広報誌「あっぱれ」
春号発行 | 杉並事業部
■杉並心臓病カンファランス
■広報紙No.61「しぐま」発行
■訪問リハビリケアマネ連携会
(河北家庭医療学センター) | ■入社式(研修3月30・31日)
杉並事業部
■看護師に係る特定行為研修
開始(河北総合病院・看護部)
■東京都訪問看護教育ステーション
事業契約(河北家庭医療学センター) |
|--|--|--|--|



新人職員研修



新人職員研修



看護師に係る特定行為研修

5月

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 杉並事業部
■河北健康教室
「10年後も元気であるために、運動を始めよう」
■広報誌No.148
「かわびたる」発行 | 多摩事業部
■多摩市家族介護者教室
「リハビリ職員が教える在宅介護のポイント」
■愛宕かえで館連続健康講座
「運動を続けるコツを教えます」
■認知症カフェ「からぎだ匠カフェ」
(社会福祉法人学友会共催) | 杉並事業部
■足病・フットケアカンファランス
■訪問看護教育ST事業
公開多職種カンファランス
(河北家庭医療学センター) | 杉並事業部
■総務省「クラウド型HER高度化事業」に参画
多摩事業部
■あいクリニック平尾、あい訪問看護ステーション平尾がコーシャハイム平尾に移転
杉並事業部
■杉並区交流協会主催 外国人向け防災体験 |
|---|--|--|--|



多摩市家族介護者教室



からぎだ匠カフェ



外国人向け防災体験



あいクリニック平尾

6月

- | | | | |
|---|---|---|---------------------------------|
| 杉並事業部
■河北健康教室
「篤の会 糖尿病の薬物療法(内服)について」
■河北健康教室「上手な病院のかかり方」
■家族介護教室
「介護施設の種類と費用」(シーダ・ウォーク) | 多摩事業部
■もっと元気になる講座
「介護予防と認知症予防」
■認知症はじめて教室
■認知症カフェ「からぎだ匠カフェ」
(社会福祉法人学友会共催) | 杉並事業部
■杉並心臓病カンファランス
■城西地区小児病診連携懇話会
■杉並産婦人科カンファランス
■広報紙No.62「しぐま」発行 | 杉並事業部
■シミュレーションセンター設置 |
|---|---|---|---------------------------------|



河北健康教室



もっと元気になる講座



シミュレーションセンター



シミュレーションセンター

7月

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 杉並事業部
■河北健康教室
「その痛みリウマチかも?」
■河北健康教室
「どんなときにする? 股関節の手術とリハビリ」
■広報誌No.149
「かわびたる」発行
■家族介護教室「断捨離」
(シーダ・ウォーク)
■体力測定会
(河北リハビリテーション病院) | 多摩事業部
■認知症はじめて教室
■循環器市民講座
「動脈硬化と狭心症」
(府中恵仁会病院共催)
■夏の健康管理セミナー
「暑い夏を元気に」
(京王電鉄共催)
■第16回あい老健夏祭り
■認知症カフェ
「からぎだ匠カフェ」
(社会福祉法人学友会共催)
■広報誌「あっぱれ」
夏号発行 | 杉並事業部
■病診連携をすすめる会
■NSN Hematology Network Conference
■杉並消化器病カンファランス
■医師・看護師・薬剤師のための在宅ケア
セミナー(河北家庭医療学センター)
■訪問看護教育ST事業公開多職種
カンファランス
(河北家庭医療学センター)
■みんなで考え みんなで支える
地域づくりの会
(河北総合病院、荻窪病院、佼成病院)
■地域連携会
(河北リハビリテーション病院) | 杉並事業部
■「看護専門実践研修」
開講式(看護部) |
| | | 多摩事業部
■慰霊祭 | 杉並事業部
■杉並第一小学校主催
「命の授業」 |



第16回あい老健夏祭り



杉並消化器病カンファランス



慰霊祭



命の授業

8月

- | | | | | |
|---|--|---|---|---|
| 杉並事業部
■夏祭り
(河北リハビリテーション病院)
■小学校高学年向け
「夏休みKID's 病院体験」 | 多摩事業部
■認知症はじめて教室
■認知症カフェ
「からぎだ匠カフェ」
(社会福祉法人学友会共催) | 杉並事業部
■杉並心臓病カンファランス
■広報紙No.63
「しぐま」発行 | ■納涼会
多摩事業部
■多摩事業部事例・
研究発表大会 | 多摩事業部
■平尾自治会
盆踊り大会
■落合夏祭り |
|---|--|---|---|---|



夏休みKID's 病院体験



夏祭り(河北リハビリテーション病院)



納涼会(杉並事業部)



納涼会(多摩事業部)

9月

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 杉並事業部
■河北健康教室
「10年後も健康であるために、運動を始めよう」
■広報誌No.150
「かわびたる」発行
■家族介護教室
「老健とは」
「高齢者の食事」
(シーダ・ウォーク)
■体力測定会
(河北リハビリテーション病院) | 多摩事業部
■認知症はじめて教室
■愛宕かえで館
連続健康講座
「外出と認知症予防
の関係性」
■天本病院敬老会
■認知症カフェ
「からぎだ匠カフェ」
(社会福祉法人学友会共催) | 杉並事業部
■訪問リハビリケア
マネ連携会(河北家
庭医療学センター)
■勉強会「自己管理が
むずかしい症例の糖
尿病治療」(河北家
庭医療学センター)
■がん診療の緩和ケア
研修会 | 多摩事業部
■訪問看護教育ST
事業「越川病院」
「訪問看護ステー
ションHUG」との
相互研修開始
(河北家庭医療学セ
ンター) | 杉並事業部
■熊野神社例大祭
(河北リハビリテーション病院)
■杉並区主催
「震災救援所訓練」
■阿佐ヶ谷 神明宮例大祭
■すぎなみ美活クラブ
健康講座
多摩事業部
■第20回
永山フェスティバル |
|---|---|---|---|---|



家族介護教室



天本病院敬老会



すぎなみ美活クラブ健康講座



震災救援所訓練

10月

<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■河北健康教室「お口の健康教室」 ■シダ祭(シダ・ウォーク) 	<p>多摩事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■認知症はじめて教室「市民公開講座「今から考える自分らしい最期」」 ■認知症カフェ「からきだ匠カフェ」(社会福祉法人学友会共催) 	<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■河北総合病院病診連携会 ■杉並心臓病カンファランス ■広報紙No.64「しぐま」発行 ■総合診療セミナー「酸分泌抑制による患者さんのベネフィット」(河北家庭医療学センター) 	<p>多摩事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■秋のスポーツ大会 	<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■杉並カレッジライフ ■杉並第一小学校主催「命の授業」 ■阿佐谷JAZZ STREETS 2017 	<p>多摩事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■自衛消防操作大会
---	---	--	---	---	---



阿佐谷JAZZ STREETS 2017 杉並カレッジライフ 秋のスポーツ大会 自衛消防操作大会

1月

<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■河北健康教室「摂食嚥下障害について」 ■河北健康教室「関節リウマチの最新知見」 ■広報誌No.152「かわびたる」発行 ■WEB採用サイトリリース ■家族介護教室「おむつの新常識」(シダ・ウォーク) 	<p>多摩事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■もっと元気が出る講座「今見直そう生活習慣～動脈硬化を予防するには～」 ■認知症カフェ「からきだ匠カフェ」(社会福祉法人学友会共催) 	<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■杉並腎・泌尿器科セミナー ■城西地区小児病診連携懇話会 ■医師・看護師・薬剤師のための在宅ケアセミナー(河北家庭医療学センター) 	<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■杉並第一小学校主催「命の授業」 ■ケア24堀之内主催 体力測定会
--	---	---	--



河北健康教室「摂食嚥下障害について」 河北健康教室「関節リウマチの最新知見」 もっと元気が出る講座 体力測定会

11月

<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■around杉並健康ライフ ■防災訓練 ■広報誌No.151「かわびたる」発行 ■家族介護教室「セルフケアで足すっきり」(シダ・ウォーク) ■体力測定会 地域ふれあい交流会 秋のスポーツ大会 認知症の基礎知識(河北リハビリテーション病院) 	<p>多摩事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■もっと元気が出る講座「実は多い慢性腎臓病」 ■認知症はじめて教室 ■みんな元気! 平尾健康フェスタ2017 ■認知症カフェ「からきだ匠カフェ」(社会福祉法人学友会共催) ■広報誌「あっぱれ」秋号発行 	<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■城西地区骨粗鬆症ネットワーク ■杉並心臓病カンファランス アブレーション連携の会 ■訪問看護教育ST事業 公開多職種カンファランス(河北家庭医療学センター) ■みんなで考え みんなで支える 地域づくりの会(河北総合病院、荻窪病院、佼成病院) 	<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■訪問看護教育ST事業「浴風会病院」との相互研修開始(河北家庭医療学センター) ■早稲田速記医療福祉専門学校 看護科学生臨地実習修了式(看護部) 	<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■すぎなみフェスタ2017
--	--	--	---	---



秋のスポーツ大会 家族介護教室 防災訓練 平尾健康フェスタ2017

2月

<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■河北健康教室「健康診断について学ぼう」 ■河北健康教室「慢性じんぞう病・食事療法について」 ■河北健康教室「透析療法について・慢性腎臓病の薬物治療のお話など」 ■節分の会(河北リハビリテーション病院) 	<p>多摩事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■愛宕かえで館連続健康講座「食事をとって活力アップ」 ■最期まで住み慣れた自宅で暮らしたい～在宅での看取りについて(やさしい手共催) ■認知症カフェ「からきだ匠カフェ」(社会福祉法人学友会共催) ■広報誌「あっぱれ」冬号発行 	<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■杉並心臓病カンファランス ■杉並消化器病カンファランス ■広報紙No.66「しぐま」発行 ■みんなで考え みんなで支える 地域づくりの会(河北総合病院、荻窪病院、佼成病院) ■地域連携会(シダ・ウォーク) ■地域連携会(河北リハビリテーション病院) 	<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ローソン「河北総合病院店」、ローソンサテライト「河北リハビリテーション病院」開店 	<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■杉並第一小学校主催「命の授業」 ■第八回 高円寺演芸まつり「出張寄席」 ■東京マラソン2018
--	---	--	---	--



河北健康教室「慢性じんぞう病・食事療法について」 愛宕かえで館連続健康講座 ローソン「河北総合病院店」 東京マラソン2018

12月

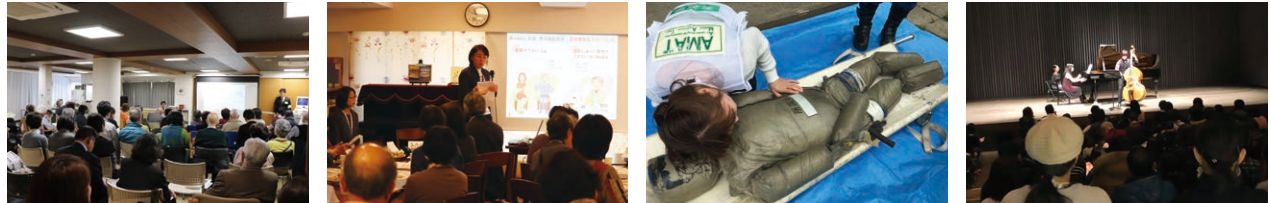
<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■河北健康教室「蕪の会 難病症例をみんなで解決しましょう!」 ■クリスマス会(河北リハビリテーション病院) ■アニマルセラピー(シダ・ウォーク) 	<p>多摩事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■多摩市家族介護者教室「口腔ケアで防ごう!誤嚥性肺炎」 ■認知症はじめて教室 ■認知症カフェ「からきだ匠カフェ」(社会福祉法人学友会共催) 	<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■杉並心臓病カンファランス ■広報紙No.65「しぐま」発行 	<p>納会</p> <p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「DBJ」ビジョナリーホスピタル(株式会社日本政策投資銀行)より評価・認定 	<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■大宮八幡花笠祭り(河北リハビリテーション病院)
--	---	---	---	--



アニマルセラピー 多摩市家族介護者教室 納会(杉並事業部) 大宮八幡花笠祭り

3月

<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■河北健康教室「膝の痛みの勉強会」 ■河北健康教室「そけいヘルニア(脱腸)の最新治療」 ■広報誌No.153「かわびたる」発行 ■体力測定会(河北リハビリテーション病院) 	<p>多摩事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■もっと元気が出る講座「もっと知りたい! 医療・介護サービス」 ■認知症はじめて教室 ■認知症カフェ「からきだ匠カフェ」(社会福祉法人学友会共催) 	<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■杉並産婦人科カンファランス ■眼科勉強会 ■訪問リハビリケア マネ連携会(河北家庭医療学センター) 	<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■河北透析クリニック(旧:河北葦クリニック)開設 ■東京消防庁より 消防総監感謝状受賞(河北総合病院) ■慰霊祭 	<p>杉並事業部</p> <ul style="list-style-type: none"> ■阿佐谷地域総合防火防災訓練 ■日本フィル 春休みオーケストラ探検みるきくさわるオーケストラ!
--	---	--	--	--



もっと元気が出る講座 認知症はじめて教室 阿佐谷地域総合防火防災訓練 日本フィル春休みオーケストラ探検